

第24回 東京玉翠会

平成18年7月8日(土) 16:30~18:30
ホテルパシフィック東京「萬葉の間」

最近、なんしよんな？

つな が り



SHISEIDO

Rosa gigantea

紅茶のような香りのばらで、
リラックス感を。

Hoh-Jun

ばら園の香りの基調となるのは
2種のリビングローズ。クラシックな
甘さとフルーティーな爽やかさを。

Rosa damascena

天然ブルガリアンローズの
エッセンシャルオイルを使用。
花香の女王ともいわれ、
1400個の花からたった1gしかとれない、
香りで優雅な香り。

資生堂 ばら園 オードパルファム N
50ml 2,800円(税込2,940円)

表示価格は税別です。

お問い合わせは ☎ 0120-81-4710へ
(9:00~19:00/土・日・祝日を除く)

www.shiseido.co.jp/baraen/

香る、みずみずしいばらの花

ばら園

テーマ つながり～最近、なんしょんな？

地元から遠く離れた地で毎年これほど大規模な同窓会を開いている例は全国的にも珍しいとか。そんな東京玉翠会では、いたるところで様々なつながりが育まれています。旧友とのつながりを再認識するのはもちろん、世代を超えたつながりや意外なつながりを見つけて頂ければ幸いです。

平成18年7月8日

第24回東京玉翠会総会 昭和57年卒幹事一同

目次

◆ごあいさつ	東京玉翠会会長 渡辺 修、玉翠会前会長 顧問 多田野 久 玉翠会会長 大西 大介、高松高等学校校長 溝淵 利博 ……2
◆総会次第・金管楽器演奏者紹介 ……6	
◆議案書 ……7	◆事務局体制 ……9
◆特集 みんなどこかでつながっている	
◇卒業生インタビュー Part 1 作家・川本晶子さん ……10	
◇卒業生インタビュー Part 2 女優・藤澤恵麻さん ……12	
◇座談会 甲子園に出場して ……14	
◇卒業生対談 玉井恵子さん&山田規畝子さん ……18	
◇同好会大紹介 ……21	
	讃美会、高高神田会、ゴルフ同好会、東京玉翠会オールスターゴルフ、 囲碁同好会、インターネット研究会、プラスバンド関東OB会、 TMCE～合唱同好会～、平成会、菊池寛杯争奪麻雀愛好会
◇あの頃に戻ってもういちど“街ぶら”してみませんか？ ……32	
◇なつかしい味、恋しくなったらおいでま～せ！ ……34	
◇緊急プロジェクト 首都圏の美味しいうどん屋さん大集合 ……36	
◇バーチャルな世界でリアルなつながり再発見！ ……39	
◆第23回東京玉翠会アンケート集計結果から ……40	
◆綴じ込み特別付録 高松高等学校昭和57年版校舎ペーパークラフト ver. 0.9 ……41	
◆玉翠会だより 徳島玉翠会、関西玉翠会、岡山玉翠会 ……45	
◆総会準備 奮闘記 ……50	◆表紙デザイナー紹介・御礼・編集後記 ……52
◆校歌・校友会の歌 ……53	◆東京玉翠会会則 ……58
◆東京玉翠会役員名簿・学年幹事名簿 ……60	◆寄贈図書目録 ……62

東京玉翠会ホームページ <http://www.gyokusui.com/>

ごあいさつ

東京玉翠会会長

渡辺 修



日増しに暑さが厳しくなり、本格的な夏の訪れを迎えるこの時季、今年も東京玉翠会総会を迎えることとなりました。年初から準備に励んでこられた、今年度の幹事学年である昭和57年卒業の幹事団諸君に、心から敬意を表する次第です。また、全学年幹事各位も、例年通り、強力なバックアップ体制をとって頂きました。併せてご報告申し上げます。

昨年は、母校の野球部が72年ぶりに春の選抜甲子園大会に出場するという事で、大いに盛り上がり、応援団最優秀賞まで頂いたことは、皆様の記憶にも新しいことと存じます。今春の香川大会においては、3連勝して準決勝（ベスト4）に進出したものの、宿命のライバルである高松商業に惜しくも敗退したと聞いております。遠くない将来、ふたたび甲子園に母校の雄姿を見ることを皆様とともに期待したいと思えます。

さて、今年のテーマは、「つながり～最近、なんしょんな？」です。改めて、この「つながり」ということについて考えてみますと、私たちは、何と数多くのつながりに囲まれているものかと思えます。個人の生活を見ますと、私たちは一人ひとりが独立して生きているのではなく、故郷はもちろん、学校、企業、地域社会など様々なつながりの中で生きています。また、経済社会を振り返ってみましても、日本経済の活性化のためには、欧米はもちろんのこと、アセアン、中国、そして東アジア全体とのつながりをさらに深めていくことが大切です。今宵はひとつ、母校という「つながり」のみならず、新たなつながりを見つけたり、確かめたり、楽しんだりしようではありませんか。

今年の総会は24回目の総会にあたり、産声を上げてから四半世紀になろうとしています。いつまでも心に残る故郷との「つながり」を振り返るとともに、東京玉翠会および総会出席者の方々のこれからの夢を楽しく語り合っただけの場として、本会の益々の盛会を願ってやみません。皆様のご協力を今後ともよろしくお願い申し上げます。

ごあいさつ

玉翠会前会長 顧問

多田野 久



本日ここに、第24回東京玉翠会総会が盛大に開催されますことを心よりお祝い申し上げます。このように年々東京玉翠会が発展されておられますことは、ひとえに歴代会長のもと、同窓の皆様方が、母校へのいとおしい想いと故郷を離れて頑張る元気の源としてこの東京玉翠会を盛り立ててこられたお陰、と心より敬意を表します。

さて、私こと、今年6月の理事会・代議員会において、玉翠会会長職を大西大介新会長に引き継ぐことになりましたので、お礼方々、一言ごあいさつを申し上げます。

香川県内で最も伝統ある同窓会組織玉翠会の会長として、四期八年、何とか無事に役目を果たすことができました。支えてくださった副会長、理事、代議員、各支部の役員及び会員の皆様、そして校長先生を始め高松高校の職員やPTAの皆様、感謝の気持ちで一杯でございます。本当にありがとうございました。

この間、思い起こしますと、心に残る行事や出来事が何点もございました。創立110周年記念行事におきましては、香川県営野球場で「香川の早慶戦」(高高 VS 高商)を行い、ホテルクレメント高松にて1,200名の会員が一同に会した大パーティを盛大に行うこともできました。また記念として、母校に「独立自主の鐘」(記念モニュメント)を寄贈しました。この鐘は、現在も、朝8時35分の始業時と、夕方17時30分の定時制の始業時に鳴り響き、後輩たちを励まし続けております。

昨年春には、選抜高校野球大会に72年ぶりの出場を果たし、全国から7,000名の大応援団が集いました。圧巻はベートーベンの第九をみんなで合唱したことで、その統制のとれた応援ぶりが高く評価され、最優秀応援団賞を頂きました。この盛り上がりの中で開催された昨年7月の東京玉翠会総会には、1,100人を超える出席者があり、当パシフィックホテル大広間も一杯となり、大いに交友を深められたことでしょう。おそらく日本一の同窓会ではないかと思われま。

また、母校では、玉翠グローバルアカデミー(GGA)が始まり、全国(世界)で活躍する卒業生の話を本人の講演で在校生に聴いてもらっています。生徒達に夢を持たせるためのイベントとして定着してきました。

昨年度から、修学旅行の形態も大きく変わりました。従来型のただ楽しむだけの修学旅行ではもったいないということで、生徒が先輩達の実際に働いている姿を見、話を聴くなどして、自分の人生の進むべき道の参考にする「研修旅行」形式を採っています。昨年は東京玉翠会の皆さんに大変お世話になりました。生徒自身の自主独立の精神を生かしつつ、先輩との交流も深められています。

このように、この八年間で思い出されることはまだまだたくさんありますが、どれもが同窓の皆さんの笑顔とともにあります。私も、東京と高松を往き来する日々、また東京玉翠会に出席させていただいた時、皆さんと共に再会を喜び、語り合いたいと思っています。

最後になりましたが、東京玉翠会の更なるご発展と皆様のご健勝をお祈りし、お礼のごあいさつとさせていただきます。

ごあいさつ

玉翠会会長

大西 大介



暑中お見舞い申し上げます。

日頃、玉翠会の運営にご理解とご支援をいただき、感謝致しております。

本年もまた、東京玉翠会が盛大に開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。

渡辺東京玉翠会会長さまをはじめ役員の方々、とりわけ本年度東京玉翠会総会を担当されました方々や事務局の皆様には心よりの敬意を表させていただきます。

さて、さる6月10日に開催された玉翠会総会に於いて8年間に亘り会長を務められました多田野久さまがご退任され、不肖私が会長の任に当たることになりました。

多田野さまはこの間、玉翠会の発展に尽力され、種々の改革や行事を成功させられました。なかでも「創立110周年記念事業」の大成功と21世紀枠ながら第77回選抜高校野球に出場した高松高校野球部への物心両面に亘る支援は記憶に新しいところです。会長を退かれましても母校に対する深い愛情は頂けるものと信じております。今後とも宜しくお祈りすると共に、益々ご活躍されんことをお祈り致します。

さて、多田野先輩に比し力量不足の私が後を継ぐことになりました。学校の歴史や諸先輩の前では昭和35年卒業の身は、若造の一言で片づけられそうですが、どうか今までと変わらぬご支援の程を新米会長に賜らんことをお祈りします。

東京に高松高校の同窓会組織が出来る前に東京を去った身にとっては、その歴史や由来を語る立場にはなく、近年の東京玉翠会の活況しか語れないのですが、ここ数年参加してみて、東京玉翠会が日本一の同窓会とマスコミに言われる所以がよく解ります。現役の大学生から晩翠、高中の諸先輩まで、大宴会場狭しと交流する姿は、喧噪のなかにもある種のハーモニーがあり誠に心地よいものです。

どうか会員の皆様には歴史ある「東京玉翠会」を益々発展させ、東京で活躍されている方の「心のふるさと」に、或いは老若問わない卒業生の「寄り辺」として、無くしてはならないものにして頂きたいと衷心から思う次第です。

最後になりましたが、東京玉翠会会員の皆様のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。

ごあいさつ

久 闊 を 叙 す

香川県立高松高等学校
校長

溝 渕 利 博



本日は第24回東京玉翠会総会が「つながり～最近、なんしょんな？」のテーマのもと、このように盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。皆様には平素より母校の教育活動に対して格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨春は野球部の甲子園出場に際して、多くの皆様から温かいご支援をいただき深く感謝申し上げます。現在、高松高校では全日制が各学年8クラスの957名、定時制が43名、通信制が335名の合計1,335名の生徒たちが、高中の「至誠一貫」や県女の「雪持ち笹」の精神を受け継ぎ、「独立自主」「文武両道」の高高スピリットを胸に、勉学や部活動・生徒会活動等に積極的に取り組んでいます。自由闊達な校風と進取向学で、東大13、京大24、医学部24など国公立大には延べ253名、早大62、慶大32をはじめ私立大には延べ677名の者が合格しています。また、部活動も盛んで96%の者が部活動に参加し、運動部では陸上、柔道、ボート、ヨット、水泳、テニス、山岳、弓道がインターハイや四国総体に出場するとともに、文化部ではオーケストラ、放送、書道、写真、囲碁、将棋、競技カルタの各部・同好会が全国大会に出場するなど活躍しています。昨年度から東京玉翠会の皆様のご協力を得て、職場研修を主体としたキャリア教育プログラム「信州・東京セミナー」を実施しています。生徒自らが関東圏の企業や大学・研究所等で活躍中の先輩を訪問して、生きた職業観や人生観を学び取るとともに、今後の進路選択等に役立てています。

「久闊を叙す」という言葉がありますが、久しぶりに旧友たちと会って近況を語り合うのは楽しいものです。特に故郷を離れた期間が長くなればなるほど、青春時代が懐かしくなってきます。そのようなとき、同窓会は旧交を温める絶好の機会となります。また、旧友や恩師との再会の喜びは何物にも代え難いものです。同窓会には①若返る②新しい友人が増える③未来へのヒントがある、の三つの効用があると言われる。気づいたときが青春です。何歳になっても人生再スタートのチャンスを与えてくれるのが同窓会の良さだと思います。

本日の総会を機に、会員の皆様方がお互いに心の繋がりを深め合い、東京玉翠会が今後益々ご発展されますよう心からご祈念申し上げ、ご挨拶といたします。

議案書

第1号議案：会務報告（活動報告）（平成17年4月～平成18年3月）

1. 第23回総会
 - ・平成17年7月9日 ホテルパシフィック東京 「萬葉の間」
～テーマ：「おいでませ ～夏だ！祭りだ！全員集合！～」
参加人数は過去最高の1100名強、高松の選抜出場記念グッズも販売され非常に盛り上がった総会でした。
 2. 学年幹事会
 - ①平成17年4月9日 第23回総会準備について（タダノ東京事務所）
 - ②平成17年6月4日 " " " " " "
 - ③平成17年11月19日 年度活動報告、第24回総会幹事団紹介、幹事慰労等
（ホテルパシフィック東京）
 - ④平成18年3月25日 第24回総会準備について（タダノ東京事務所）
 3. 常任幹事会
 - ・平成17年10月8日 年度活動報告、大西前事務局長慰労の件等
（ホテルパシフィック東京）
 4. 総会幹事団引継会
 - ・平成17年10月8日 S.56年卒業生からS.57年卒業生への総会準備に関する引継会。
この会より事務局からもサポートのため、事務局長および総務パート員が参加しました。
（ホテルパシフィック東京）
 5. 高松修学旅行におけるOB職場訪問受入れ
 - ①平成17年6月23日 高松2年生約200名を渡辺会長が理事長をされているJETROを始めとして23ヶ所で受入れ。
各職場の概要説明や見学に加え、OBとしての職場観、仕事観なども披露してもらい、高松生にとって自分の将来を考えるに当り、できる限り参考になるものを目指しました。
 - ②平成17年7月23日 職場訪問受入れに関する反省会を実施。
初めての試みであったため、高松サイドおよび東京玉翠会サイドともに種々の反省点はあるが、全体として高松生にとっても東京玉翠会にとっても有意義なものにできたのではないかと総括のもと、次年度以降も高松サイドに希望があるのであれば、受入れを継続しようということになりました。
 - ③平成17年8月12日 高松を訪問し、東京玉翠会サイドの反省会で出た意見をもとに校長、教頭先生等と認識交換を実施。
今回の試みの意義を認め、次年度以降も継続することで意見は一致しました。
- *平成17年11月、翌年度の修学旅行担当教諭が上京された折、OB職場訪問に関する打ち合わせを実施。今年も6月22日の受入れ実施を目指し、現在準備を進めております。
6. 他支部との交流
 - ・平成17年10月22日 関西玉翠会総会に事務局員が出席しました。
（ホテル日航大阪）
 7. その他
 - ・平成17年10月8日 多田野玉翠会会長のご出席を得て、大西昭一郎前事務局長の退任に伴う慰労会を実施しました。
（ホテルパシフィック東京）

総会次第

- 一、開会の辞
- 一、東京玉翠会会長挨拶 渡辺 修 会長（昭和34年卒）
- 一、議事
- 一、来賓紹介
- 一、来賓挨拶
 - 玉翠会前会長 顧問 多田野 久 様（昭和25年卒）
 - 玉翠会会長 大西 大介 様（昭和35年卒）
- 一、図書購入資金贈呈
- 一、乾杯
- 一、懇親会次第
 - 高松高等学校校長 溝渕 利博 先生（昭和41年卒）
1. 祝電披露
2. 卒業生による金管楽器演奏
3. 神田会、平成会の紹介
4. 映像①高松高校・高松駅の映像
5. 映像②高松高校野球部の映像
6. 来賓挨拶 香川県知事 真鍋 武紀 様（昭和34年卒）
7. 第24回総会幹事挨拶
8. 次回総会担当幹事（昭和58年卒）紹介
9. 校歌・応援歌斉唱・応援団エール
（応援団・プラスバンド・TMC）
- 一、閉会の辞

金管楽器演奏者紹介 トリオ・ザ・甲子園



プロフィール

嶋村昭（しまむら あきら）昭和47年卒（写真中央）
1954年2月生まれ、銀行員、高松高校吹奏楽部OB会副会長。
中学時代よりトロンボーンをはじめ。大学時代は全日本大会優勝常連校にて活躍。地元就職してからは交響楽団に所属。主にバストロンボーンを担当する。仕事柄、転勤が多かったが数年前に地元に戻ってきてからJAZZのおもしろさに目覚める。現在はSwingin' Wonderland JAZZ Orchestra (SWJO) にて演奏活動を行うとともに、瀬戸フィルの理事を務めている。

安部忠明（あべ ただあき）昭和54年卒（写真右）
1960年生まれ、小学校教員、特別支援教育士（LD, ADHD等）。
中学校よりブラバン人生を歩む（中学でチューバとユーフォニウム、高校よりトランペット）。以後、順調に吹奏楽人生を歩んできたが、53卒関元氏の影響でJAZZに目覚め、現在ではSwingin' Wonderland JAZZ Orchestra (SWJO) でトランペットを担当しつつ、コンサートマスター、HPの管理、結成したNPO法人の副理事長などを務めている。
昨年の高松野球部甲子園出場の際にはブラバンの取りまとめを行い、総勢100名の大吹奏楽団を編成し、応援団最優秀賞受賞に貢献した。
BANDのページ [【http://homepage1.nifty.com/JAZZ/】](http://homepage1.nifty.com/JAZZ/)
NPO法人のページ [【http://www.geocities.jp/npo_swjo/】](http://www.geocities.jp/npo_swjo/)

横井徹（よこい とおる）昭和57年卒（写真左）
1963年生まれ、医師。
中学・高校時代、吹奏楽部でユーフォニウムを担当。
大学時代は探検部で山登り・川下り・洞窟探検に没頭、そして卒業後も音楽から遠く離れた生活をしてきたが、1999年に香川に戻ってきたのを機会に音楽を再開。ユーフォニウムに加えバレットロンボーンも演奏している。現在Kagawa Student Jazz Orchestra (KSJO) に参加し、高校生たちと楽しくジャズを練習中。

平成17年度収支計算書(案)

自 平成17年4月1日
至 平成18年3月31日

東京玉翠会
会長 渡辺 修

<特別会計>

支出の部		収入の部	
科目	金額(円)	科目	金額(円)
会場使用料	4,915,680	総会出席会費	6,425,000
会場運営費	1,196,390	男性 625人	
総会準備費	1,852,074	女性 357人	
母校寄付金	150,000	学生 91人	
プログラム制作費	645,410	寄付金収入	267,000
一般会計への繰入	122,460	雑収入	2,190,014
合計	8,882,014	合計	8,882,014

<一般会計>

支出の部		収入の部	
科目	金額(円)	科目	金額(円)
会議費他	1,249,866	前期繰越金	10,156,217
通信費雑費	427,433	預金利子	1,022
次年度立替金	2,000,000	前年度立替金	2,000,000
		特別会計より繰入	122,460
次期繰越金	8,602,400		
合計	12,279,699	合計	12,279,699

次期繰越金

内訳(イ) 百十四銀行東京支店			
普通預金 No.125044			3,573,970円
定期預金 (通帳式定期)	満期	平成18年9月7日	1,714,407円
定期預金 (通帳式定期)	満期	平成18年6月14日	2,130,216円
定期預金 (通帳式定期)	満期	平成18年6月14日	1,170,241円
(ロ) 手持現金			13,566円
合計			8,602,400円

脚注 東京高中会並びに晩翠会東京支部よりの受入基金1,500,000円は上記定期預金にて運用されています。

上記収支決算書について、監査の結果、適正なる事を認める。

平成18年5月15日

監事 岡内 伸一 (印)
同 松本 橋子 (印)
同 合地 仁美 (印)

<東京玉翠会 事務局体制> (事務局 代表電話番号：048-476-8701 (岩崎))

担当部門	担当ミッション	事務局員
事務局長	*事務局の統括	岩崎昭宏(S.49) (代行:北村篤孝(S.49))
会計担当	・東京玉翠会一般会計担当～予算、決算 ・総会会計監査担当	前田 勇(S.38) 淵崎正弘(S.50)
総務パート	*事務局局務全般担当(総会幹事団サポート主担当) ・各学年幹事相談窓口、幹事活動強化支援 ・長年の懸案である東京玉翠会としての全体名簿作成 総会準備における希望年度からの学年名簿手配対応など。 ・一般会員への情報提供・啓蒙活動の企画、実施 ・メーリングリスト担当 (メーリングリストを活用してネット事務局機能の充実を図る) ～各担当事務局員はメーリングリストに登録～	北村篤孝(S.49) 小山宏記(S.53) 土田 充(S.53) 長尾みどり(S.53) 庄村敦子(S.54) 三好英彦(S.56)
HPパート	・現在すでに存在している「東京玉翠会HP」の管理・維持対応および新企画検討など。	土居範行(S.47)
総会パート	*幹事年度の、「横の繋がり・結束を強化する『場』」であり、東京玉翠会の老若の信頼の絆を理解するきっかけの『場』として位置づけ。 ・年次総会開催～式準備、動員指示、集金指示、当日差配など ・学年の自主性尊重：前例踏襲を排除し、学年幹事団の体力に合わせた総会準備活動が大前提。	卒業25年目 学年幹事 受付 卒業23年目 学年幹事
高高玉翠会パート	*高高、玉翠会本部・他支部との連携を強化することで、東京玉翠会の組織力、ステータスの向上を目指す。 ・高高との窓口。総会における高高関係者対応や東京地区への進学者の最初の組織化対応など。 ・玉翠会本部ならびに3支部との連絡窓口。総会における玉翠会関係者対応など。	大喜多俊彦(S.51) 佐藤ひとみ(S.51) 小見山紀絵(S.56) 榎原みどり(S.56) 斉藤利幸(H.1)
高中会晩翠会パート	・高中会事務局との窓口。総会における高中関係者対応など。 ・晩翠会世話役との窓口。総会における晩翠関係者対応など。	入江 久(S.42) 小島豊子(S.43) 池上晴英(S.45) 外丸香代(S.56)
同好会パート	・各同好会の活動状況を把握し、その活性化を企図するとともに、新サークル結成も支援。 ・総会における各同好会紹介など同好会活動の事務局的位置づけ。	植松 健(S.52) 神崎 俊(S.52) 野中真理(S.52) 合地仁美(S.52)

卒業生インタビュー

Part 1

作家 川本 晶子さん

つながりを信じてみるのもいい なあと思い始めて故郷に墓所を 買いました

新人作家の登竜門として知られ、過去に宮尾登美子さんらも受賞した「太宰治賞」の第21回受賞作「刺繍」の著者・川本晶子さんは、昭和57年の卒業。年末からは香川県の地元紙・四国新聞で小説の連載を始める。その素顔と、故郷との「つながり」を聞いた。

る」と笑ってました。その時、空想してたのは、映画の「シベールの日曜日」(1962年、仏、アカデミー外国語映画賞)。戦争で記憶を失った青年と、寄宿学校に入れられた12歳の少女が日曜日ごとに会って心を通わせていたのに、青年を変質者と誤解した警官が……という不条理な物語ですが、私はお気に入り、シベールのコートを着たくて母に縫ってもらいました。小学校2年から4年までは「私のことシベールって呼んで」と周りに言っていました。

病気とのつきあい

1歳までに肺炎に3回かかって以来、病気がちなんです。高校1年の時には薬の副作用が出たりして、何とか3年生に進級したものの、今度は腎臓を壊してしまいました。3年の夏休み前から4カ月、点滴しながら病院から学校へ通いましたが、3年生を2回やることになりました。すごく申し訳ないんですが、高校時代はあまり楽しかった記憶はありません。

1日は24時間と決まっていますし、私は体が弱いから睡眠時間を十分取らなければならぬので、「残りの時間、何でこんな

にいっぱい学校に行かなきゃいけないの」と思っていました。読みたい本とか、見たい映画とか、一人で行ってみたいところとか、いろいろあるじゃないですか。

当時のことでよく覚えているのは、正門前の「ミルク」という名前の喫茶店です。体調のこともあって、高校には父の車で送ってもらってましたが、国分寺から庵治に向かう父の通勤時間に合わせるので、どうしても私の登校時には早過ぎるんです。だから毎朝、「ミルク」でミルクを飲んで、時間を潰してから登校してました。

知らない所へ行きたい

高校の時は卒業するのが精一杯でしたが、卒業すれば東京に出ようと思っていました。それまでの記憶全てから逃げて、誰も私を知らない、私も知らない所に行きたかった。

浪人するふりをして芝居の本を買い漁り、早稲田を受けると嘘をついて東京に出て、三船敏郎さんの創った芸術学院を受験しました。家に届いた合格通知で、母は初めて本当のことを知りました。母は、しばし呆然と私を見つめて、その後ひたすら抱きしめてくれました。「あなたなら頑張れる」と、説明なしで共感してくれました。

芸術学院を半年でやめ、移った別の劇団も3カ月でやめて、自分で「樹の会」という劇団を作りました。今も演劇をやっている当時の仲間もいますが、コンタクトはしていません。私は当時から芝居の打ち上げの時にも、すすーっと消えていました。つながりたくても何だか怖くてできなくて、一人で夢を見ながら漂泊することを選んだようです。

でも、演劇とか、故郷を出てとか、独特の匂いを醸す言葉ですが、私自身は、自信がなくて誰にも失礼はしたくない小心者です。年に2、3回は里帰りする孝行娘でも

ありますよ(笑)。

小説は自分への鎮魂

23歳で結婚、34歳で離婚し、食べていくため編集プロダクションに経理で入り、ライターに転向して38歳で独立しました。当時、ものすごい量の原稿を書いてました。女流アーティストの連続インタビューやスポーツ新聞の官能小説連載、週刊誌連載のタレント自伝のゴーストライター、話題一つで4万を埋める雑誌の企画記事。連載を何本も掛け持ちして、心も体も壊しかけました。そんな時、母が亡くなりました。

「刺繍」は、認知症で介護が必要となった母親と、39歳でパツイチの娘の物語ですが、あくまでフィクションです。しかし、私の頭の中を通過して物語は生まれてくるので、作品の登場人物が抱える問題は、すべて私の抱える問題です。私は私にとってリアルなことしか書けません。私にとって小説を書くとは、自分の悩みに対して小説という虚構を与えることで、模索整理していくという作業です。そういう意味で、2003年に母が亡くならなければ、あの小説とは違う小説を書いていたでしょう。つまり「刺繍」は母への鎮魂ではなく、自分への鎮魂の役割を結果的に果たしました。

去年の春、仏生山に自分の墓所を買いました。母のお墓の隣です。母の墓には長兄一家が入るので私は入れないと思い、すぐ脇のほんの小さな一囲いを手に入れました。私、「迷子」にはなりたいたけれど、お墓はちゃんと欲しいのです。散骨は、ずーっと溺れていなきゃいけないような気がして嫌なんです(笑)。いつ帰るとも知れない故郷に墓所を買うとは気の早い話だと思いますが、「つながりを信じてみるのもいいなあ」と思い始めたので買ったのだと思います。

(取材・文・撮影/昭和57年卒 松下 英志)

プロフィール 川本晶子(かわもと・あきこ)=本名・吉川由佳(よしかわ・ゆか) 1962年、愛媛県川之江市(現四国中央市)生まれ。牟礼小、牟礼中、高松高校卒。上京して演劇活動に携わった後、34歳で編集プロダクションに入りフリーライターに。スポーツ紙での官能小説連載やタレント本のゴーストライターなどを経て2005年5月、「刺繍」で第21回太宰治賞受賞。



牟礼の山と空想好き

先祖は代々仏生山ですが、私は父の仕事の関係で川之江に生まれました。1歳の時に父が庵治の石材会社に転職して牟礼に引っ越し、高高入学時に国分寺へ転居するまで牟礼で育ちました。

子どもの頃、よく1人で牟礼の山に入っ「迷子遊び」をしました。迷子になったふりをしながら「この道は知ってるから大丈夫」と思ってるんですが、10回に1回は本当の迷子になり、すごい冷や汗をかいたのを覚えています。

空想好きで、幼稚園の時には「母をたずねて三千里」の主人公に成り切っていました。園からの帰り、小高い場所にあった自分の家を見上げてマルコの気分になる。「もしかしてあの辺にお母さんが住んでるかもしれない」と思うと、いつもの勝手口からは入らず、玄関で呼び鈴を押します。母が「はい」と出てくると、私は「あなたはもしかして私のお母さんですか」と。母も「そういうお前は……」と調子を合わせてくれました(笑)。

小学校の時は、家でご飯を口に入れようとして箸が止まり、家族が「また止まって

女優 藤澤 恵麻さん

高高のバドミントン部時代の友人との“つながり”を、今でもとても大切にしています

女優の藤澤恵麻さんは、平成13年の卒業。NHK朝の連続テレビ小説「天花(てんか)」のヒロインとしてデビュー後、現在では映画やコマーシャル等でも活躍中です。藤澤さんに、高松での思い出や高高生としてのつながり、女優業などについて話を聞きました。

慎重で優柔不断

父親は香川出身ですが、私は母親の実家のある秋田で生まれました。2才頃までは東京に住んでいて、その後はずっと香川です。子供の頃は、遊んでいる時に「こんな高いところに登ると降りられないだろうな」と思うと絶対登らないとか、かなり慎重な性格でした。それから家の中ではわがままでけれども外ではいい子にしていたので、母親には「二重人格」と言われていました(笑)。外で遊ぶのは好きでしたから色はまっ黒でしたが、運動は全然ダメ。中学でバドミントンを始めてから体力もついて、運動神経もずいぶんと良くなったように感じます。この頃から背も毎年少しずつ伸びていきました(注：藤澤さんは168センチの長身)。

高高に入ると「この人達とは脳みその作りが全然違う」と思うような人がいました。私は、どちらかというと勉強よりも部活を一生懸命やっていたように思います。高高でもバドミントン部に入ったのですが、みんな仲がよく、練習が終わってからも部室ですっとおしゃべりしていたのが懐かしいです。当時よく行っていた店が瓦町駅のデイリーストアで、60円のカレーコロッケが大好きでした。県庁の食堂にもよく食べに行きましたよ。「冷やしうどん」と「ぎ

うどん」はほとんど変わらないのに、「どっちにしよう」と真剣に悩んだり(笑)。昔から優柔不断で、これは今も変わっていません。

在学中特に印象に残っていることは、卒業生による「先輩講演会」に女優の高畑淳子さんが来てくださったことです。高高生はどうしても「頭が固くて真面目」というイメージがありますが、講演では「私はよく乗り物の窓から外を見て訓練していたので、動体視力がいい」という話をされていて、普通の高高生とは違うと(笑)。当時は自分が女優になるなんて考えもしなかったのですが、この話はとても記憶に残っています。女優としても大先輩なので、機会があればぜひお会いしたいです。

故郷(ふるさと)のつながり

高松を離れてから6年目になりますが、今でも年2回は帰省しています。久しぶりに帰ってくると、まわりの店とかも変わっているのに、ずっとここにいたような気になるから不思議です。香川って海と山の両方がありますよね。瀬戸内海は穏やかだし、「ゆるい」という感じがぴったりくるんです。都会と違って人もあくせくしていないし、ペースが全然違う。いつもと変わらない風景があって、私の知っている香川

が心の中にあるという安心を感じます。

「つながり」という意味では、やっぱりバドミントン部の友人たちと過ごした時間は、私にとってすごく貴重だったと思います。同級生が7人いたのですが、大学時代は毎年必ず7人全員！が集まって旅行していました。ある時は「宿はもう予約しとるけん、現地集合や」ということになって、「ほんまか〜」って(笑)。今でもみんな本当に仲がよくて、ときどき会ったりしてるんですよ。

高高の場合、卒業生が全国にいて、しかもいろいろな分野で活躍しているのがすごいですよね。東京に出てきても一人ではなくて、同じようにがんばっている仲間がたくさんいる。そういう気持ちを持っているところが一番の魅力かなと。東京玉翠会に参加したことはないのですが、総会に出た友人から「あの子は今こんなことをやっているらしいよ」という話を聞いて元気をもらったりしました。総会で突然マイクを握らされた同級生もいたそうです。玉翠会がこれだけ長く続いているのは本当に素晴らしいこと。母校ってやっぱりいいなと思いますね。

「正反対の自分」がきっかけに

それまで自分では「典型的な高高生」だと思っていたので、女優になるなんて夢にも思いませんでした。もし女優になっていなかったら…たぶん普通のOLになっていたでしょうね。実際に女優の仕事をやってみると、とても体力が必要なことに気づきました。撮影がハードなときは睡眠時間も少ないですし、寒い時に半袖を着たりとか、大変なこともあります。ドラマ「天花」の時は、本当にきつかったですね。とにかく毎日遅くまで撮影があるので台本を覚える暇がないんです。睡眠時間との「せめぎあい」でした。着替えてカーテンの中に入ると同時に思わずボタンと横になって、そのまま眠ってしまいそうになったことも。また、セットの中に台本を置き忘れてしまい、「これはきっと天花の

～特集 みんなどこかにつながっている～

台本だ」とスタッフが気づいて、取っておいてくれました(笑)。でもどんなに忙しくても大学の授業は出席して、4年間で卒業することができました。

この世界に入ったきっかけは、それまでの自分とは正反対の行動をとったからなんです。モデルに応募すること自体それまでの、いわゆる“いい子”であった自分からは想像もできない行動でしたが、でもその結果人生がまったく変わってしまった。高高生ってどうしても頭で先に考えてしまい、本当の自分の気持ちに“ふた”をしている部分があるのではないかと。でもあの時の自分には、恥ずかしさの反面、きっと心のどこかに“やってみよう”という気持ちがあったはずなんです。その感情に素直に従って行動することとときには大事だと思いました。

今はいただいた役をこなすのに精一杯ですが、もっと自分で考えて「こうやりたい」とイメージして、それを表現できるようになれば女優ってすごくおもしろいし、喜びも深いのではないかと思います。セリフを覚えることは努力すればよいのですが、たとえばある場面を撮影するその瞬間に役柄の感情になりきって泣くというのは、やれば必ずできるわけでもない。「練習ではもっとうまくできていたのに」と悔しくなる時もありますが、「次こそ」と思っていつも全力投球しています。辞めたいと思ったことはないですね。やっぱりバドミントンを6年間やってきて、自分にとって継続することは大事だと思っていますから。

今は本当に仕事に必死なので、もう少し心にゆとりを持てるようになりたいとは思いますが。感情を表現する仕事なので、もっと人の気持ちがわかるようになりたいですね。同じように心の底から共感できるようになれば、人としても女優としてももっと向上できるんじゃないかと思うんです。

(取材・文/昭和57年卒 本田 博之)

プロフィール 藤澤 恵麻(ふじさわ・えま) 1982年生まれ。上智大学在学中の2001年に雑誌“non-no”の専属モデルに選ばれる。2004年のNHK朝の連続テレビ小説「天花(てんか)」のヒロインに。2005年11月に映画「奇談」で初主演。二作目の主演映画「ラブ★コン」が2006年7月公開予定。CM(キリンビバレッジ「小岩井無添加野菜・純水果汁」)でも活躍中。
公式ホームページ：<http://www.ema-fujisawa.jp>



甲子園に出場して…

高校球児の花舞台「甲子園」。昨年春その舞台で戦った高高球児は何を感じ、何を得たのか

高高の体育会に暗黙に求められる「文武両道」。しかし「武」の目標を「全国大会出場」に設定した場合、そのハードルは極めて高い。

高高野球部は、戦前に7回の甲子園出場（春3回、夏4回）を果たしたこともある、かつての「野球名門校」。戦後も何度か甲子園の目前まで善戦したことはあったが及ばず。常に甲子園を「目標」としつつも、70余年も遠ざかるとそれは「夢」に近いものになっていた…。その「夢」を71年の沈黙を破って実現した球児たち。彼らはその夢の舞台で何を感じ、何を得たのか？ 出場後1年を経て卒業した4人の元球児に3年間の高校生活と共に甲子園出場を振り返ってもらいました。

高高野球部に入部した際の印象は？

池内：メガネをかけて、勉強熱心なまじめな方が多いのかと想像していましたが、おもしろい先輩、個性豊かな先輩がいて、楽しそうなイメージに変わりました。

森：イメージとのギャップはありませんでしたが、高高野球部のレベルは高いと感じました。

因藤：3つ年上で野球部マネージャーをしていた姉から（練習などが）厳しいとは聞いていましたが、聞いていた以上に厳しいものでした。

田窪：（入学当初）野球部に入るつもりはありませんでしたが、監督から電話で誘われて



入部しました。

甲子園で宇部商業と対戦しての印象は？

池内：中国地区の代表ということもあり、強いチームというイメージはありました。実際に対戦して、まずピッチャーが良いという印象でした。ピッチャー以外の選手でも、スイングスピードや肩の強さなど、個々の能力の差を感じました。

森：（試合前の）アップの際から肩の強さなど個人の運動能力に差があることは感じましたし、スイングの質、スピードともに高高の選手との差があり「これが全国レベルなの

【高中・高高野球部の歴史】

学校創立から3年後の1896年（明治29年）に、四国で最初の中等野球部として創部。1915年（大正4年）開催の第一回夏の選手権に出場。1926・1928年夏の二度の4強進出、1928年秋の神宮大会優勝など、かつては全国のトップレベルにあった。

昨年1934年（昭和9年）夏以来71年ぶり、高高としては初の甲子園出場を「21世紀枠」にて果たした。その選抜大会では、1回戦で強豪の宇部商業と対戦し、善戦するも2対6で敗退。これで甲子園での通算の戦績は春1勝4敗、夏5勝4敗。

～特集 みんなどこかでつながっている～

か」と思いました。宇部商業のピッチャー（好永投手）は左投げでしたが、（同じ選抜大会に高松高校とともに出場を果たした）三本松高校のピッチャーが左投手だったので、苦手意識はありませんでした。実際に対戦しても三本松のピッチャーと似た感じでした。

因藤：事前にビデオを見た際に（好永投手は）時速130Kmくらいの球速だったので、打てるイメージでした。（初回にいきなり三塁打を放ったことに関し）いつものことですが狙い球を絞っていたわけではありませんでした。最初はコントロールも定まらず「大したピッチャーではないな…」と思っていました。5回くらいから自分のピッチングをされて、「これは打てんな…」と思いました。

田窪：中国大会では高打率を残した強打線ですが、事前に見たビデオでは自分に似たタイプの投手とは対戦していなかったので、どんな対戦になるのかイメージできませんでした。実際に対戦してみると、甘い球は逃さず、タイミングが外れてもファウルで逃げる。特に4番の好永選手はうまいバッターで、打ち取るのが大変でした。初回到3連打を打たれた時は「試合は終わるのかな…」と正直思いましたが、投げているうちにどういうタイプ



池内 司 君（主将 選抜出場時は8番で遊撃手）

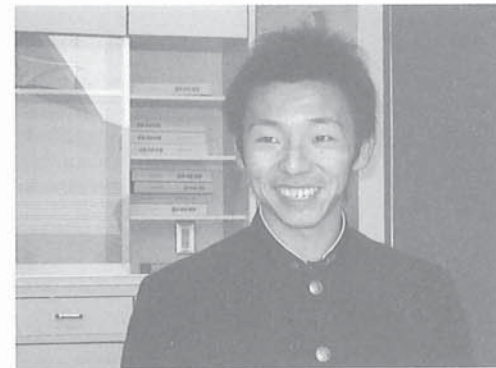
のバッターなのかが感じとれてきました。それ以降は、初回のような3連打を打たれることはないと思いながら投げていました。

甲子園の舞台で何を感じたか？

池内：それほど緊張はしませんでした。アルプススタンドの応援はすごいものですが、応援席は遠くて内野からは視界に入らず、プレッシャーは感じませんでした。それよりも楽しさを感じて気がついた時には7、8回になっていて、あっという間に終わってしまいました。勝てなかったことは残念でしたが、楽しめたことが良かったです。

森：私も時間が経つのが早いと感じました。満塁の場面でタイムリーヒットを打ったとき、一塁をまわる際にアルプススタンドから迫力ある大歓声が沸き、「やった！俺！」と思いました。勝敗は別にしてこのままずっと試合を続けていたい…と思いながらやりました。

因藤：大会ではいつも緊張するのですが、第一打席で3塁打を打ってからは緊張せずに楽しみながらプレーができました。初回の3塁打は勝負強いというより「たまたま」です（笑）。逆に宇部商業のほうが、中国地区の



森 俊介 君（副主将 選抜出場時は4番で一塁手）



因藤 雄一郎 君（選抜出場時は1番で中堅手）

優勝校ではありますが「結構緊張しているな」と思いました。

田窪：試合前はとても緊張していました。1回、2回はまだ地に足がついていない感じで、前半は良いピッチングができませんでした。後半は自分のピッチングができました。（牽制球をほとんど投げなかったことに関して）バッターを打ち取ることに手一杯だったのと、暴投が怖くて投げられませんでした。投球がインコースに決まりだしてからは余裕も出てきましたが、牽制球を投げるチャンスはありませんでした（笑）。

勉強と野球の両立は？

池内：勉強もしなければならぬことをハンディとは思いませんでした。そこを評価されて21世紀枠に選ばれたわけですし、勉強をしなかったほうが逆にハンディになると思います。

森：強豪校の場合は「野球だけ」になるのですが、好きな野球を一日中やるのと、短時間でも厳しい練習を行い、その後切替えて勉強に取り組むのとどちらが大変か。自分たちは両方していることをプラスにとらえるようにしていました。

因藤：勉強によって練習ができなくなることはないと思います。練習量的にも県内の他の学校に引けをとっていないと思っていますし、ハンディとも思っていません。

田窪：全然勉強はしていませんでした（笑）。しなければならぬと思いつつも切替えができないタイプで…。

後輩たちへのメッセージを？

池内：自分たちの出場によるプレッシャーはあると思いますが、出場しなければ決して得られない非常に良い経験ができるので、ぜひ甲子園出場を経験してもらいたい。そして更に伝統をつなげてもらいたい。

森：自分たちの出場によって、また新たな伝統が芽生えて欲しい。甲子園出場によって自分も大きく成長できたと思うので、後輩にもぜひ甲子園に出てもらいたい。

因藤：甲子園は遠いものではないことを感じ取ってもらえたと思うので、伝統を引き継いでもらえれば近いうちにまた甲子園に出場できると思います。

田窪：自分の場合は甲子園出場を明確な目標としていたわけではなく、勝ち進んだ結果として出場できましたが、後輩たちは明確に甲



田窪 朋広 君（選抜出場時は7番で投手）



子園出場という目標ができたと思うので、ぜひ頑張ってもらいたいと思います。ただ、勝つことも大切だと思いますが、一番は楽しむことだと思います。高校野球は高校時代にしかできませんので、その時を楽しんでもらいたいと思います。

野球の夢はこれからも続く？

池内：自分の中では甲子園以上の夢はなかったのですが、大学入試の際に自然にキャンパスのグラウンドに足が向かっていて、「やっぱり野球っていいな」とあらためて思いました。

森：将来の夢としてはぜひ高校野球の監督をやってみたい。草野球でも何でも一生野球に関わってみたいと思います。

因藤：肩と腰に不安があって、大学で本格的な野球を続けるのは難しいように思いますので、将来の夢としては、オーリーブスタジアムに毎日野球観戦に足を運ぶおっさんになりたいと思います（笑）。

田窪：大学での一番の夢が留学なので、野球との両立が可能であればやると思いますが、叶わないのであれば留学をして、その後会社に入ってから草野球をしたいと思います。

【取材後記】

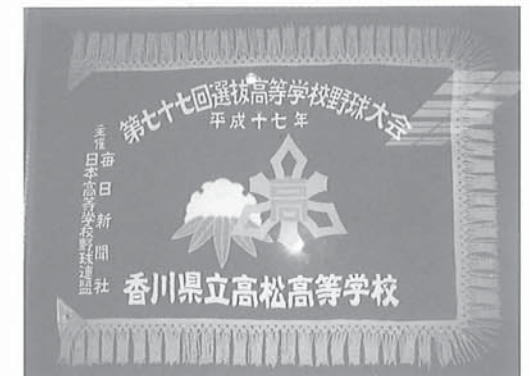
筆者も甲子園へ駆けつけ、久々に大きな声をはり上げて応援しましたが、7,000人余の高中・高高卒業生があふれんばかりにアルプスタンドを埋め尽くして繰り広げた応援は、異様なほどに一体感のあるものでした（大会の応援団最優秀賞を受賞）。あらためて卒業生である誇りをその中で認識できるという、非常に貴重な機会を得ることができました。

筆者は高高野球部のOBですが、彼らとの間には24年という隔りがあるせいか、「現代っ子だなあ」という印象を受けました。しかし、それと同時に、継承されてきた伝統というものも強く感じずにはいられませんでした。そして今回の甲子園出場は、新たな歴史の一ページとして、より良い伝統の継承につながっていくものと確信しました。

最後に、この取材にご協力いただきました高高野球部の渡辺部長、秦監督、門脇先生、そして4人の後輩たちに、この場をお借りして御礼申し上げます。

（司会／昭和57年卒 本田 博之）

（文／昭和57年卒 堀本 勝敬[野球部OB]）



開会式で池内司主将が手に持って入場行進した選抜旗

卒業生 対談

玉井恵子さん&山田規畝子さん

脳が壊れた医師と その壮絶な体験記を 世に出した編集者との 知的な遭遇



玉井 恵子(たまい けいこ) 昭和42年卒。文化服装学院師範科卒。45年(株)講談社に入社。「若い女性」「週刊少女フレンド」などの雑誌編集を経て、現在、生活文化局で文庫、新書、実用書、一般書籍などあらゆる形の書籍編集に携わる。

あいかわらず失敗しています

山田：ご無沙汰しています。

玉井：その後いかがですか。

山田：おかげさまで。といたいところですが、なんといっても脳に障害を持つ身ですから、毎日何かしら失敗しています。

玉井：「壊れた脳 生存する知」の中でもいろいろな失敗が描かれていましたよね。

山田：ええ。あの頃は本当にひどかったです。ご存じのように、思考・言語・記憶・注意・感情のコントロールといった人間特有の脳機能を高次脳機能というのですが、そこがだめになると、それまで当たり前でできたことができなく

山田規畝子さんは昭和57年卒。これまでに三度の脳卒中を経験している。33歳の脳梗塞で倒れる前は整形外科医だった。その後、高次脳機能障害という後遺症を抱えながらリハビリ医を目指すのが、37歳で脳出血。九死に一生を得たものの、これまでの後遺症に麻痺も加わる。数年前、山田さんは自らの壮絶な体験を綴った原稿を友人の紹介で講談社に持ち込んだ。出版に向けてさらに原稿を書き進めていた頃、担当編集者から意外な言葉が…。

「紹介してくれたお友達は高松高校の同級生でしょ。編集部トップも、実は高松高校出身なんですよ」

その人が玉井恵子さん。昭和42年卒の先輩だったのだ。平成16年2月、山田さんの著書「壊れた脳 生存する知」が無事発刊。その後まもなくお二人は対面した。きょうは久しぶりの先輩・後輩のおしゃべりである。

なる。私の場合、物忘れが極端にひどくなりました。ほかにも靴を左右反対に履くとか、トイレの水の流し方を忘れるとか。左側にある物や左半身への注意がおろそかになる半側空間無視という症状もあるので、テーブルの左側にあるおかずを食べ残したり、左手で持っていたスーパーの袋をいきなり落としたりする。そんなことの連続でした。今ではだいぶマシになりましたけど…。

玉井：頭の中は目に見えないだけに周囲から理解されにくく、つらいこともあるでしょう。

山田：脳が壊れていない方からすれば、まさかそんなことができないの？という世界ですから、単なるトロい人と冷たい目で見られることは、残念ながらあります。

玉井：山田さんのことを知ったのは4年程前だったかな。編集部で何かの折に高松の話が出て、山田さんの担当編集者が「今、高松の人の原稿を進めている」と。高松の後輩だということもその時に知りました。でも高松の後輩ということよりも何よりも、山田さんのような状況で自ら原稿を書いているという、その事実が驚きました。ぜひ本にしたい、とにかく最後まで書いてもらうようにと、担当者を励ましたのを覚えています。

山田：ありがとうございます。

玉井：原稿が完成したときにも、よく書き上げることができたものだ、と。それまで持っていた高次脳機能障害に対する認識が変わりました。体験した人にしか書けないことを見事に書ききったすごい原稿。それと同時にこれはほか

の誰にも書けない極めて希少性の高い本になる、とも思いました。

山田：そうでしょうか。

玉井：本当よ。壊れた脳で考え、行動することがどんなことなのか、それを優れた表現力で描き出している。出版しなくてはならない一冊だと思ったし、こういう本に出合えたことは編集者冥利に尽きます。

山田：恐縮です。おとしのゴールデンウィークに拙宅までお越しいただきましたよね。天下の講談社の出版部長さん。どんな方なのかワクワクしながらお待ちしております。実はうちの母、役職からてっきり男性と思い込み、エルメスのネクタイを用意してたんですよ。

玉井：あらあら(笑)。

山田：実際にお目にかかる、穏やかできれいな方。ただちょうどその時、術後ずっと飲んでた痙攣止めの薬がバリバリに効いていて、腰が抜けたようにソファにふんぞり返ってお話を伺った記憶があり、いまさらながら失礼な態度を申しわけなく思っています。

玉井：そうでしたか？ 私は山田さんのこと、写真で見るよりも若いなあと思ったくらいで、あとは山田さんの状況に興味津々。お話を伺ううちに、すごく頭がよい人だとわかったし、持病のない人たちよりもずっと積極的で好奇心旺盛な感じを受けました。

山田：根っからの貧乏性というか、何かしていないと落ち着かない性分なもので。それに当時は、雑誌やテレビの取材が続いて、妙に張り切っていたかもしれませんね。玉井さんがわざわざいらして下さったこともすごく嬉しかったのを覚えています。

女子クラス？ 男子は浴衣で安来節？

玉井：ところで山田さんは子どもの頃から医師になりたかったの？

山田：うちは昔から代々医者の家系で、医学部に入らなければ家にいられないという空気はありました。でも得意科目は国語と音楽で、数学はまったくダメ。担任の先生が「なりたいものが一番やぞ」と励まして下さって、恐る恐る理系を選択したんです。それでも数学は最後まで悲惨でした。小論文は模範解答に選ばれるほどだったのに…。

～特集 みんなどこかでつながっている～



山田規畝子(やまだ きくこ) 昭和57年卒。昭和39年、高松市に生まれる。東京女子医科大学6年生の時、最初の脳出血を起こし、持病のモヤモヤ病が発覚。後遺症がなく63年、無事に卒業し、整形外科医として同大付属病院に勤務。26歳で郷里高松に戻り香川医科大学(現・香川大学医学部)に勤務。実家の山田整形外科病院の院長となってまもない33歳のとき、脳出血により脳梗塞を併発、高次脳機能障害を発症する。リハビリ医を目指す、愛媛県伊予病院に勤務するが、37歳で三度目の脳出血。半側空間無視など新たな後遺症が加わるが、姉が運営する老人保健施設の施設長として社会復帰を果たす。平成16年2月、発病当初からの自分の症状や独自で考え出したりハビリ法などを書き綴った著書「壊れた脳 生存する知」が講談社より発行されると同時に、医学界内外より大きな反響を呼び、複数の出版社主催の賞にノミネートされるなど、高い評価を得る。16年春より医師を休業し高松へ帰郷。現在はテレビ・雑誌の取材を受けながら講演や執筆活動をこなす。

山田規畝子オフィシャルサイト
●<http://maido.rocket3.net/kikuko/top.asp>

玉井：その文章力が今に活かしているわけね。

山田：玉井さんはマスコミ志望でしたか。

玉井：いえいえ。今でいうモラトリアムのはしりでしょうか。夢のない醒めたティーンエイジャーで、なりたいたいのがなかった。高校を出て文化服装学院に進みましたが、卒業したら高松に帰るつもりでした。ところが夏休み明けに学校で友達と冷やかしか半分求人広告を見ていたら、講談社の初任給がいい。で、受けたら受かってしまったという申しわけないようなきっかけで。

山田：それはすごいですね。

玉井：でも結局は、この仕事が合っていたのでしょね。今まで続けていられるのだから。

山田：高松生活はどうでしたか。

玉井：「よく遊び、よく遊び、お勉強はたま

に」と、ごくごく普通に楽しかったですよ。2年までは文系で3年は女子クラス。確か当時の女子クラスは就職コースだったと思います。

山田：えっ！ 女子クラスがあったんですか。私たちの頃は、男子だけの「野郎組」はありましたが。就職コースというのも初耳です。

玉井：あと私がいちばん印象に残っているのは、1年のときに階段教室だったこと。

山田：？？？

玉井：なにしろ団塊世代でしょう。教室が足りなかったらしいの。それから当時は体育祭で男子が浴衣を着て「安来節」を踊るのが恒例でした。確か踊る学年が決まっていたような…。大勢の男子が浴衣を着ているというだけでおもしろくて笑えたものです。あと放課後や夏休みに、廊下に机を出して勉強するふりをしつつおしゃべりしていたのも懐かしい。でも廊下に机が点々と出ていた光景って、今考えると不思議ね。

山田：かなり大らかな校風だったようですね。ところでその頃に学食はありましたか。

玉井：もちろん。豆てんぷら入りのうどん、好きでした。20円くらいだったかな？

山田：安い！ 私の頃はかけうどんが確か80円でした。今思うとコシもなく、どうってことない気がします。ダシがおいしかった。

同じ高高のメンバー。ただそれだけで安心

玉井：山田さんの頃はまだ古い校舎は残っていたはずですよ。

山田：はい。すり減った階段をミシミシいわせながら上って、重いドアをゴロゴロ開けて、中庭の楠木の下のベンチではのんびりして。

玉井：私は昔の高高の雰囲気が好きだったので、今の校舎は母校という気がしなくて。でも高高が「懐かしい思い出、わが青春」であることに変わりはないけれど。

山田：実を言うと高校時代も卒業後も、なんとなく高高にしっくりなじめていない疎外感があったんです。でも矢尽き刀折れて高松に帰ってきたおとし、地元の同窓会に誘ってもらったら、たくさんの同級生が「僕のこと、覚えてますか」って話しかけてくれて、ああ、私も高高のメンバーなんだと、その実感を多少取り戻せた気がしました。

玉井：私も年齢を重ねるにつれて、若い頃の思い出を共有できる場があるのはけっこう大切なことではないかと思うようになってきました。

山田：そうですね。温かい空気があるというか、たとえ卒業以来会っていなくても、同級生というだけで安心できることは確かですね。

玉井：私の代では年に一度、30人くらい集まる東京の同期会があるんですが、そこで旧交を温めたり、ずっと親しくおつきあいが続いている人や同期会で親しくなった人たちとはお互いの家を行き来したり、食事したり、お茶やお酒を飲んだり。楽しいですね。同じ趣味の人とはほとんどメル友状態です。

山田：高松に帰ってから、高次脳機能障害の実態をもっと多くの人に知ってもらおうと講演やインターネットで活動を始めたのですが、考えてみると、事務的なマネジメントをしてくれているのは高高の同級生。ホームページを立ち上げてくれたのも同級生。同じ医療の現場に進んだ同級生、特に脳外科医の友達はよき相談相手です。本が出たときも、数多くの同級生から励ましのメールをもらいました。疎外感があったといいながら、かなり濃い高高つながりで今を生きていられるわけですね。

玉井：それはよかったです。やはり本を出したことで山田さんは、高次脳機能障害で苦しんでいる人々を代弁する存在になったと思う。負担になることもあるかもしれないけれど、大きな意味のあることです。周囲の人たちのサポートに感謝することを忘れず、やれるだけのこと、そしてやりたいことをどんどんやっていってください。そんな山田さんの姿から生きる意欲をかき立てられる人がたくさんいるのですから。私も応援しています。

山田：玉井さんには、原稿を拾ってくださったこと、本を出してくださったことで新しい人生をいただいたと思っています。本当にお礼の申し上げようもありません。その人生を無駄にしないためにも、脳が壊れた人と健常者が共存できる社会を目指して活動していくつもりです。そしていつの日か、私にしかかなりえない、痛みを癒せる医者になりたいと思っています。きょうは楽しかったです。ありがとうございました。

(取材・文／昭和57年卒 伊東 麻紀)

東京玉翠会会員が世代を超えて「つながり」を育んでいる場とえば、同好会を忘れるわけにはいきません。えっ、敷居が高そう？ いえいえ、そんなことはありません。同じ高校の先輩・後輩というだけで、なぜだかすぐに打ち解けられるのです。初めてのあなたも、気になる同好会に思い切って参加してみは？

「つながり」と言えばやっぱりコレ！ 同好会大紹介

「美術同好会」改め「讚美会」

美術を愛する同好士の集まりとして発足した美術同好会でしたが、発足以来、正式名称が定まらぬまま「美術愛好会」「美術同好会」などと呼ばれておりました。

昨年5月に20年卒中村文俊会長から29年卒の長谷川汎新会長にバトンタッチしたことを機に正式名称を「讚美会」とし、より一層活発に活動しております。

具体的な活動としては、関東圏の美術館めぐりを年数回行っております。昨年は春に一泊旅行で那須・塩原に出かけ、「那須高原 私の美術館」「ニキ・ド・サンファル美術館」や現代美術コレクションで名高い「板室温泉 大黒屋」を訪問しました。また、秋には千葉県「松山庭園美術館」「川村記念美術館」に日帰りで行きました。

讚美会の良いところは、単にみんなで集まって芸術作品を鑑賞するだけではなく、会員同士

のつながりを通じて様々な機会に恵まれることではないでしょうか。卒業生の中には美術界の各方面で活躍されておられる方が大勢おられ、会には展覧会・個展などの有益な情報を寄せて頂いております。また前会長の中村氏は世界的な絵画コレクターでもあり、芸術作品に対する鋭い解説を聞きながらの鑑賞会は作品鑑賞の機会を何倍も価値あるものにしてくれます。

美を愛する心と人とのつながりを大切にしながら、楽しい活動を続けていこうと考えております。参加希望などは随時受け付けております。御興味のあるかたは是非ご連絡ください。

連絡先：長谷川 汎 (はせがわ ひろし)

(昭和29年卒)

e-mail : bon@d7.dion.ne.jp



此木三紅大 (このきみくお) の作品の前にて



ニキ・ド・サンファル作「ブツダ」

高高神田会って何やるか？

<神田会常連のBさんと若手A君との玉翠ゴルフ同好会コンペでの会話より>

A：B先輩、Aといいます。Cさんの会社の後輩で高高平成〇〇年卒です。中学も××中学で、ここも後輩になります。宜しくお願いします。

B：おお、あなたがAさんか。C君から聞いたけど。家はどこ？えっ、役場の先の雑貨屋から入ったところ？ほんまに近所やの。世間は狭いもんやね。このあいだC君とは神田会の『館ころ白味噌雑煮会』で会ったよ。あのときはよう飲んだわ。

A：Cさんもよく飲みますからね。ところで『館ころ白味噌雑煮会』って何ですか？

B：神田会で毎年恒例になっとる行事や。2月に渋谷の『高松』という先輩の店で讃岐風館ころ餅白味噌仕立て雑煮と飯蛸とうどんとで旧正月を祝うという趣向やね。おっと私がオナーやな。ああんころがしてしもた。まっ、出だしはこんなもんやろ。

A：あんころ餅雑煮で旧正月ですか、風雅な趣向ですね。たくさん集まるんですか？

B：会場の『高松』は満杯御礼状態やなあ。館ころ白味噌雑煮という風流な讃岐文化をお江戸に広めるといふ使命もあるけん、集まるんは、高高卒だけでないからの。

A：高高卒だけでなく、ご家族の方も来るんですか。

B：神田会は玉翠会の会員、その家族、同僚、



東慶寺コンサート演奏の模様 いい雰囲気です

友人、恋人、愛人なんでもウエルカム、老若男女善男善女、よおけ集まって賑やかにやとるんよ。普通の飲み会もあるよ。

それから秋はこれも恒例になりつつある『鎌倉東慶寺で月見コンサート』や。駆け込み寺で有名な『東慶寺』の本堂で高高出身の音楽家の生演奏を静かに鑑賞する会やね。仲秋の名月を背景に秋の虫も競演してくれるで。東慶寺は四季の花々が綺麗での、特に秋は見事や。著名人の菩提も多く、境内を散策して、ええ音楽を聴いて、実に優雅や。それから皆で一杯飲んでそりゃ盛り上がるよ。今年の秋に来てみたら？

A：神田会ってなんだかみやびな集まりなんですね。おっと、ドラコンホールですよ。チャー・シュー・メンと。うーん当たりはまああだけどラフにいっちゃったですね。

B：讃岐の人間がチャーシューメンはいかんがな。讃岐はうどん、高高の子はやっぱ

あの食堂の「天ぷらうどん」やで。それってテン・ブラ・うどん!! あらどこ行った？

A：先輩真上ですよ。どテンブラですよ。テンブラうどんより釜揚げか何かの方が…。

B：うるさいな!! 雀の子みたいにピークパークやかましわ。

A：…… (ピークパークって、ひばりや雀じゃなんやけどなあ)

B：そや、雀といえば今度『菊池寛杯』を立ち上げるよ。郷土の文豪、高中の誇りの菊池寛先生は麻雀を日本に広めた方でもあられる。菊池寛先輩を偲んで玉翠会らしくマナーを旨とし紳士的に麻雀の腕を競うというこっちゃ。もちろん文壇の酒豪菊池寛にならってそのあとは酒を酌み交わすことになるけどな。

A：(何や、酒ばかり呑んだる会やなあ……) 先輩、いよいよ最終ホールですよ。

B：うーん、最後はええとこ見せないかな。それっ!! あっ、いかんちーピンや。君が麻雀の話をするから、ゴルフがマージャンになってしもたがな。

A：(麻雀の話をしたのは先輩やけどなあ)



讃岐弁と館ころ白味噌雑煮で祝う旧正月うーん風流？

～特集 みんなどこかでつながっている～

先輩OBで打ち直しのようですが……。

B：ほんまにじょんならんやっちゃ!! OBは先輩に決まっとるわ!!

A：先輩、そんなに熱くならないで。ひと息つかれては。

B：ひと息も「人と木」もないわ。それっ!! いかん今度はどスライスや! ヒャーOBや!!

A：先輩、声が裏返ってますよ。落ち着かれては。

B：むつごいやっちゃ、神田会やけん、声もかんだかいんじゃ!! それっ!!

A：先輩、池に一直線ですっ!!!! (……風雅で善男善女が集まる紳士的な「高高神田会」っちゃ、一体何やろうか。よう分からんけど いっぺん行って見よ!!)

(文/神崎 俊、監修/岡崎 洋)

連絡先:

岡崎 洋 (昭和 37 年卒)

e-mail: okazaki@o2m-law.com

神崎 俊 (昭和 52 年卒)

e-mail: t-kanzaki@pearlace.co.jp

小山 宏記 (昭和 53 年卒)

e-mail: koya@hyrock.co.jp

神田会ホームページ

<http://www.gyokusui.com/kandakai/kanda-index.html>

不平等にならないよう原稿依頼時に字数の上限を設けてあったのですが、どうやらそれでは収まりきらなかったようで…。本来ならば書き直しをお願いするところですが、「おもしろいし、えんやないか」ということで全文掲載させて頂きました。(編集者)

ゴルフ同好会

ゴルフ同好会って・・・

第1回のコンペは平成6年5月 下秋間CCで高中の諸先輩の発案、当時総会幹事である45年卒の方々のご尽力により開催されました。ゴルフを通して世代を超えた縦のつながりを強めたいという気持ちからゴルフ同好会が始まりました。

平成9年から 年一回のコンペが熱意により、年2回春と秋に開かれるようになり、毎回30~40人集まって親睦を深めています。これまでにコンペに参加して下さった方々は高中卒の方から高平卒の方まで述べ800人を越えるでしょう。

そして東京玉翠会ゴルフ同好会は今年第24回を迎えました。くしくも東京玉翠会総会と同じ回数を重ねたわけです。

第24回東京玉翠会ゴルフ同好会は平成18年5月21日 千葉の市川急CCで開かれました。前日の荒れた天候とは違い五月晴れのとてもすがすがしいゴルフ日和でした。グリーンは微妙なアンジュレーションがあり、芝付もよく戦略性に富んだコースでした。

高松からそしてシンガポールからと34名の自称腕自慢が集まりトークとゴルフを楽しみました。優勝は33年卒の津森喬氏“ハンディとパートナーとお天気に恵まれました。”と優勝者の弁を残し、第25回の幹事になりました。



思いを込めていざ！



勝利のスピーチ 思いは？

参考までに昨年の開催日時とコースです。

第22回は平成17年5月22日

太平洋クラブ成田コース

第23回は平成17年10月23日

八千代ゴルフクラブ

ゴルフ同好会は東京玉翠会のゴルフ好きの集まりです。好きこそ物の上手なれ 下手の横好きといわれますが、どちらでもOK!“結果は問わず楽しもう！”クラブを片手に春と秋に集まっています。

参加御希望の方は東京玉翠会HPのゴルフ同好会あるいは小島までお願いします。コンペのお知らせを送ります。

連絡先：小島 豊子（昭和43年卒）

e-mail: toyoko@d08.itscom.net



みんなで仲良く記念撮影

東京玉翠会オールスターゴルフ

おっ、「オールスターゴルフ」だあ、なんだかすかしたなめえじゃねえか。なにに、「名門ゴルフ場で平日優雅にプレイする。」って？てやんでえ、じゃれてんじゃねえぞ、このご時世にずいぶん豪気な話じゃねえか。ん、でも、考えてみりゃ平日に時間がとれるってことか？それにプレイフィーも土日にくらべりゃめっぽう安いなあ。理にかなってるとはあねえか。で、名門ゴルフ場といえば、霞ヶ関、相模原、戸塚、なんていろいろあるけど、ん？「東京よみうりC.C.」。いやあ、江戸っ子だねえ。東京人なら野球は巨人、ゴルフはよみうりに限るって

もんだ。ん、巨人は全国ローカル球団だろうって？本当の都会人なら東京ヤクルトだろうって？個人見解ほざいてんじゃねえや!! こちとら花のお江戸の神田界限でブイブイいわしよる、バリバリの東京人やけん、根性はいっとるでえ。・・・幹事さん、看板文句はこうしていくんねえか。「東京玉翠会オールスターゴルフ：名門ゴルフ場で平日優雅に讃岐弁でプレイする。」

連絡先：小山 宏記（昭和53年卒）

e-mail: koya@hyrock.co.jp



囲碁同好会

紫式部の「源氏物語」や、清少納言の「枕草子」にも登場し、彼女たち本人もこよなく愛した囲碁。

囲碁は世の中がどんなに変わろうとも、これほど面白い“頭のスポーツ”はないともいわれ、老若男女を問わず、何時の時代にも打ち継がれて来ました。そして又、私たちの同好会も、人の“輪と和”を大切に楽しんできました。

しかしここ2年間、同好会は活動を中断しています。幹事の怠慢が第一、つぎに良い環境を望むあまりに、会場の確保が難しくなったことが、言い訳の大きな理由です。メンバーは、30数名います。玉翠会の総会や、電話等で話すたびに「今度何時やるの」と聞かれ、「そのうちそのうち」と言い逃れてきました。

この原稿依頼を機に、横田義直君（昭和35年卒）と今年秋の開催を約束しました。

次のプログラムには再開のご報告ができると思いますので、メンバーの方ご期待下さい。また、入会希望の方は是非幹事宛ご連絡下さい。お待ちしております。

囲碁同好会幹事：

丸田 晃（昭和25年卒）

井上 榮（昭和33年卒）

植田 義直（昭和35年卒）



優勝カップ
前会長・辻 義文氏寄贈



東京玉翠会ホームページの現況 インターネット研究会

インターネット研究会では、東京玉翠会ホームページの管理をしています。

東京玉翠会のホームページは1996年（平成8年）に開設されました。その経緯については以前も書きましたが、第14回東京玉翠会総会の際に、動員対策の一環として開設したものです。

そのころは、同窓会組織でホームページを作成しているところはほとんどなかったように思います。

ページのデザインは、当初からほとんど変更していません。

いまでは動きのあるものなど凝ったホームページも多く、それに比較するとおとなしい感じがするかも分かりません。しかし、商業

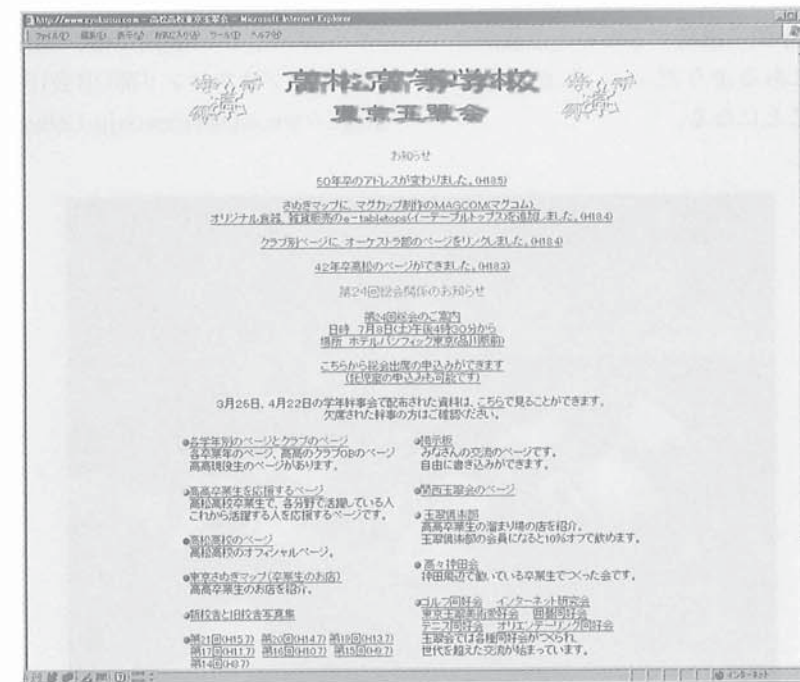
サイトではないし、デザインに凝る余裕もないので、当分は変えないでおこうと思っています。

ただ、あまりサイトを深くせず、知りたい情報がどこにあるかがトップページを見れば分かるように心がけています。

最近では個人情報の管理がうるさく、同窓会の写真を掲載したり、近況などを書くことが難しくなるなど、いろいろと制約もありますが、今後も皆さんに東京玉翠会の現状や卒業生の情報などを提供していきたいと思っています。

連絡先：土居 範行（昭和47年卒）

e-mail: doi@ab.mbn.or.jp



東京玉翠会ホームページ <http://www.gyokusui.com/>

ポスト甲子園 ブラスバンド関東OB会

深夜の東名高速浜松付近で我々の甲子園行き一番バスは止まったきりだ。大きな事故だったらしく焦ってもどうしようもなかった。

やっと甲子園に着いた時には高松部隊は先に入った後だった。楽器を手にもみくちやになってアルプススタンドに辿り着いた時には、既にプレーは始まっていて球場は異様な興奮に包まれていた。。。。。。試合は…惜しかった。

応援で最優秀賞を頂いたのは、応援団もチアガールもみんな自分達のおかげだと思っているので良い。毎日新聞評には「ブラスバンドがベートーベンの歓喜の歌を演奏するなど…」とあり、100人近くも掻き集めて甲子園に集結したブラスバンドも頑張った。

スタンド前方には少年野球チームの小学生達が、夢中で声を張り上げていた。「僕等も勉強して！高高に入って！甲子園に来るんだ！」と、甲子園に出場するという意義がそんなところにあるようだ。。。。。。しかし後4、5年は掛かることになる。

さて今年も東京玉翠会で校歌応援歌を演奏することになったが、昨年の盛り上がり分その後遺症か！？ちょっと集まりが悪いようだ。しかし少しも心配することはない。それは私の年に立ち上げた高高吹奏楽部の卒業生が例年首都圏に5-6人は来ているので、(私の年齢-18)×5=?。。。。。。なんと！200人余りになるからだ。

これまでも、懐かしい高校時代の応援歌や校歌を旧友の前で演奏することに喜びを感じ、会場を盛り上げることに一役買ったと、自負しているものも多く、例年何処から!?ともなく集まって来る。。。。。。とは言え、今年も演奏しにきた者には「また来い！」と声を掛け、「またやろう！」という気持ちになるよう、皆さんにも呼びかけて頂ければ幸いです。

高高ブラスバンド関東OB会々長
頼則 絢太 (昭和34年卒)
高松高校ブラスバンド部OB会HP
<http://www.geocities.co.jp/CollegeLife/4562/>



TMCE (高松高校音楽サークル東日本・仮称) ～合唱同好会～

高松高校ゆかりの人たちや音楽部OBの親睦および合唱を楽しむことをスローガンに、歌が好きな人が集う場所、それが、「TMCE (高松高校音楽サークル東日本・仮称)～合唱同好会～」です。応援団とブラスバンドに合わせて、東京玉翠会のステージでも楽しく歌っています。

世話役が立上げの昭和世代から平成世代に代わり、『いつかどこかのステージで歌ってやろう』と秘めた闘志を燃やしつつ、でも、出来る範囲で気長に続けていくことを目標に活動しています。もちろん人の集うところ、会話あり、笑いあり、心のふれあいあり、ついでにお酒もあります。

音楽っていいですよ。一人で作る音楽もステキだけど、仲間と作る音楽は素晴らしいも

のです。歌は体が楽器です。だから道具が要りません。高松高校ゆかりの人であり、かつ、音楽が好きな人なら、経験や実績は必要ありません。体一つでご参加ください！

いつでも声をかけてくださいね。一緒に声を合わせましょう。(文/新井ゆかり)

世話役(連絡先):

桑原 正芳 (平成元年卒)

e-mail: kony-kuwa@music.email.ne.jp

連絡先:

新井(旧姓中西)ゆかり (昭和54年卒)

e-mail: yuka-1960@jcom.home.ne.jp



平成会

真の代表者：平成6年 山口潤(自覚しよる？
山口君！あんたが発起人や
で！)

構成メンバー：S63+平成学年なら誰でも入
会可。ただし、平成に「つな
がる」気持ちの若さがあるな
ら、年齢については応相談。

会設立時の目標：

「昭和年代卒業のパワフル会員に負け
じ！」と平成卒学年の意気を高めるため発足。
が、まだまだ押され気味。何しょん！
しゃんしゃんしまい！

つながり現況

「つながり～最近、何しょんな？」

「懇親会」と称する“つながり”で、学
年幹事とゆかいな仲間達を中心に集まり

(@主に「人と木」、ワイワイ楽しんだり、
個人的なイベントが誰かにあれば手助け・
応援にいたり、何かにつけ楽しみ中。

つながり今後の想い

「つながり～で、これからどうすん？」

同じ高校の人との「つながり」の意味、
ちょっとはわかるようになった今日この
頃。これからも、いろんな学年と“つな
がる気持ち@ヒューマン”（NHKからのパク
リ）を大切に、もっと玉翠な人々とつな
がるつもり。平成ももう18年。卒業して都
会にきて、ちょっとは大人になったかな。
そのあたり、また集まって語ってみよう！

連絡先：斉藤 利幸（平成元年卒）

e-mail : t3saito@par.odn.ne.jp



今秋、第1回開催予定。ぜひ、御参加を！ 菊池寛杯争奪麻雀愛好会

麻雀普及に貢献した菊池寛

昨年11月、九十九里浜に面して建つ麻雀博物館
を訪ねて、同博物館の会報にエッセイを書く仕事
を頼まれた。博物館の1階正面に飾られた200号の油
絵「国士無双」には、10人の麻雀文化人が描かれ
ていた。卓を囲んでいる4人は、全員がイーピンで
あがれる役満の手。ツモあがりしたのは、私たち
の大先輩の菊池寛！ 気分をよくして2階に上ると、
そこにも菊池寛にまつわるものが。

昭和初期、麻雀が爆発的にブームとなった。その
火付け役が、菊池寛が社長をしていた文藝春秋社。
同社が製造販売した国産第一号牌である「文藝春秋
牌」や愛雀家であった菊池寛が愛用した「菊池寛牌」
も展示されていた。そのことに感動して、エッセイ
に菊池寛が母校の先輩であることを書いた。

それから約半年後、神田会のMLで「菊池寛杯争
奪麻雀愛好会」の立ち上げを知り、お手伝いをさせ
ていただくことになった。

ゴルフ前の団楽から生まれた「菊池寛杯」

某氏によると、「菊池寛杯」の話が出たのは、昨
年11月。4名で泊りがけゴルフに行き、宿で麻雀を
やったが物足りず、仲間を増やして麻雀大会をやる
うという話になったとか。

6月9日現在、準備会を5回開催。準備会と称して
遊んでいるだけという意見もあるようですが(笑)、
大会ルールなどを検討し、ほぼ決まりつつありま
す。「菊池寛杯」のカップは、昭和33年卒の井上榮
先輩にお願いする予定。6月上旬には、麻雀博物館
に行き、麻雀の歴史や文化を学んだ後、麻雀必勝
御守、麻雀ストラップなどの賞品を購入しました。



第5回菊池寛杯準備会
(左から入江さん、庄村、神崎さん、高嶋さん)



国士無双をあがって喜んでいる菊池寛(右から3人目)。
卓を囲んでいるのは、菊池寛から時計周りに久米正雄、
五味康祐、阿佐田哲也。(写真提供：麻雀博物館)

第1回の開催は秋を予定。場所は、新橋の「香川・
愛媛せとうち旬彩館」の近くにある雀荘を予定して
います。菊池寛は麻雀で負けると口をきかんようにな
るので「くちきかん」と言われていたそうですが、
私たちは、菊池寛先輩を偲びながら麻雀の腕を競っ
た後は、同窓生の親睦を深めましょう。参加御希望
の方は、ご連絡下さい。一緒に楽しみましょう！

(文/庄村 敦子)

連絡先：

神崎 俊（昭和52年卒）

t-kanzaki@pearlace.co.jp

小山 宏記（昭和53年卒）

koya@hyrock.co.jp

土田 充（昭和53年卒）

tsuchida@muse.dti.ne.jp

庄村 敦子（昭和54年卒）

YHD06003@nifty.com



麻雀博物館の菊池寛の肖像の前でっこり

あの頃に戻ってもういちど“街ぶら”してみませんか？

～高松市丸亀町商店街再開発事業について～

東京玉翠会会員の方々もお盆やお正月に帰省なさることがおありでしょう。

そして、ここ数年の丸亀町をはじめとする「商店街」の衰退にお気づきの方も多と思います。

物心がつくつかないくらいの頃から「商店街～街～」は私にとっては「特別な場所」でした。子どもの頃はよそ行きの洋服を着て街の華やいだ雰囲気ウキウキし、また学生時代は友人と連れ立って、何回も商店街を歩き来したことが懐かしく思い出されます。

しかし時は流れ…。あの溢れんばかりの人々で賑わっていた商店街はすっかりその様相を変えてしまいました。道路の整備に伴う郊外住宅の増加、また欧米スタイルの地方大型店舗の相次ぐ出店などの影響を受け、街の中心部から人々が減り、それらと共に残念なことに商店街も徐々に衰退してしまいました。

私も帰省のたびにあの日本有数の長さを誇るアーケード街を度々歩いておりましたが、年々閉店する店舗、シャッターがおりたままの店。虫喰い状態の商店街に心を痛めており、ここ数年は「過去の楽しかった思い出が消されてしまうようで」商店街に足を運ぶことが少なくなっていたのが実際のところでした。

丸亀町商店街の歴史は古く、今からおよそ400年前に玉藻城が築城された際「丸亀」から商人を招き、お城のご用達商店として形成されていったのがその始まりだったと伺っています。また、商店街から松平藩の別荘「栗

林公園」に続く街道沿いに、今も「鍛冶屋町」「紺屋町」などの当時に偲ぶ町名が残っていることは皆さんご存知の通りです。

全国でも類を見ないほどの歴史ある「商店街」がこのまま衰退の一途を辿っていいのだろうか？このまま廃れる一方なのだろうか？これは店主の方々長い間ご懸念されてきたことでした。

そして、平成2年に「高松丸亀町商店街再開発組合」が発足し、約15年の月日をかけて、商店街の地権者及び各店主の合意、また県や国に積極的に働きかけ、今ようやく多くの方々のご尽力のもと「商業だけでなく、人々が豊かな時間が過ごせるような空間の提供を目標とした、全く新しい形の商店街への再生」計画が現在進みつつあるのです。

まず、高松三越から入ったところに全国初となる大きなガラスのドームを設置します。そのドームは直径25メートル・高さ33メートル、イタリアミラノの「ガレリア」にも匹敵するもので、名実ともに商店街の「顔」と



ガラスのドームとドーム広場の完成予想図

なり、雨量の少ない香川県の特徴を活かす形で「自然光」を充分にとり入れたものになる予定です。

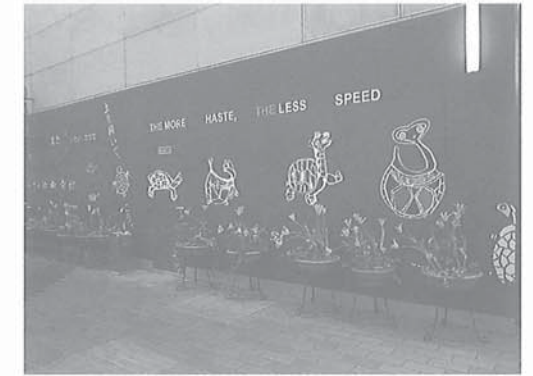
また、その「ドーム広場」の舗装デザインは香川県出身の現代美術家・川島猛氏が監修なさり、地元の子どもたちに自由にイラストを描いてもらうなどのワークショップを行ない、次世代を担う子どもたちにも「街の顔づくり」に参加してもらいます。

香川県は以前より多くの有名アーティストとのかかわりが深く、また市民、県民の方々もアート・芸術には馴染みが深いことと存じます。新旧県庁庁舎他を建築デザインした丹下健三氏、言わずと知れた猪熊弦一郎氏、そして、若者達に絶大な人気を誇るイサムノグチ氏など。「ガラスのドーム広場」にはその場所を有効活用し、また新たな「アート溢れるスペース」を提供したいという想いが込められています。

現在、商店街ビルの再開発に伴いその上部をマンションに改築し、「再び街の中心に住んで頂こう」という計画も既に着工しています。最終的には「車をお持ちでない方、運転ができない方」も30分ほど商店街を「街ぶら」して頂ければ、食材から日用品まで全ての買い物やすませられる、というような形を整えていきたい、というのが丸亀町商店街の大きな目標だとも伺っています。

「全ての人にやさしい街」というのが「街づくり」に関しての、今後の大きなキーワードになってくるでしょう。ヤングファミリーが休日に商店街にいらした際、お子さんが安心して遊べる場所の提供。また、高松ならではの素晴らしい自然環境を活かしたオープンカフェや、地元の魚や野菜が気軽に購入できる市場。段差がなくベビーカーや車椅子でも難く入れるような喫茶店。ちょっと腰を下ろして休憩できるベンチ。及びこれからの長きに渡って「商店街」が持続、繁栄していくための若手起業家の育成など…。今後も課題

～特集 みんなどこかでつながっている～



現在建築中の建物の目隠しに川島猛氏が描いて下さった丸亀町にちなんだ「亀」のイラスト

は沢山あると思います。しかし、今まさにそれらを行なっていく全国初の仕組みが、国及び県、高松市からの支援を受けてようやく実現しつつあるのです。

さあ、みなさん！帰省なさったらまた「街ぶら」にお出かけしませんか？

大好きな故郷高松。青春時代を過ごされた、思い出たちがいっぱいあった高松の街を再び歩いてみられませんか？

まだまだ実際の事業は始まったばかりですが「街へまた行きたい」「街ってこんなに楽しかったんだ」「街に住みたい」と思っているような「街」に近々きっと変わっていくことと信じております。

～「街」は人が作るもの。そして誰もが気軽に行き交える場所こそが「街」～
私は常にそう思っています。

(協力／高松丸亀町商店街振興組合)

(取材・文／昭和59年卒 Y・H)

東京で働く傍ら、手弁当で再開発事業を手伝っているY・Hさん。故郷の現状を憂慮する真摯な気持ちに打たれ、寄稿をお願いしました。ご本人の強い希望もあり、今後の活動に支障がないようイニシャル掲載とさせて頂きました。

(編集者)

なつかしい味、恋しくなったら おいでま〜せ!

香川・愛媛せとうち旬彩館

うどん、しょうゆ豆…ときどき無性に食べたくなる故郷の味。帰省したときに思う存分食べる、買って帰る、取り寄せるという方も多いのでは? そんなみなさま、新橋にある「香川・愛媛せとうち旬彩館」をご存じですか? 東京でも懐かしい味はゲットできるのです。

リピーター急増。 特産品ショップには ふるさとの味と技が1400アイテム。

JR新橋駅・銀座口から徒歩1分。ビジネスマンとOLが行きかう活気あふれる通り沿いに「香川・愛媛せとうち旬彩館」はある。ここは2003年3月、香川・愛媛両県の名産品や地元情報を発信するアンテナショップとしてオープンしたもの。客足は順調に伸び続け、昨年12月には来店者数が100万人突破という盛況ぶりだ。

まず1階は特産品ショップ。約41坪の明るい店内には食料品をメインに特産物がぎっしりだ。佐々木修店長によると、約1400アイテムの商品を扱っているらしい。しかし「香川コーナー」と「愛媛コーナー」とに分けられ、さらにうどん、醤油、珍味、銘菓など商品ごとにわかりやすく陳列されているので、お目当てのものが探しやすい。

「最近はりピーターのお客様が増えたように思います。みなさま、じっくり時間をかけて店内を



地元の味がぎっしり! あれもこれも買いたくなる。



特産品ショップ
佐々木修店長

ご覧になり、よく吟味してからお買い上げですね。うどんの人気は不動ですが、醤油、だし醤油、塩などの調味料もよく出ます」(佐々木修店長)

「かくれた逸品コーナー」では、その名の通り、知る人ぞ知る絶品とか、「さぬきの手作り和三盆サブレ」のように根強いファンに支えられ、定番商品へと成長しているアイテムが紹介されている。販売スタッフが親切に商品説明をしてくれるし、気軽に試食や試飲ができるのもうれしい。

また「イベントコーナー」では、「香川のお土産フェア」「小豆島オリーブフェア」「金時にんじんフェア」など、ほぼ週替わりで楽しい催しが行われているので、こまめにチェックしたい。



港区新橋2-19-10
新橋マリビル
特産品ショップ(1F)
営業時間10:00~20:00
電話03-3574-7792
かおりひめ(2F)
営業時間11:00~23:00
電話03-5537-2684

昼はうどん、夜は地酒と海の幸三味。 「かおりひめ」は正真正銘、 行列のできる人気店。

続いて階段を上って2階に行くと、「かおりひめ」がある。店名からもわかるように、香川と愛媛の食材をふんだんに使った郷土料理が楽しめる店である。

11時~16時半の昼メニューで人気といえばやはり、うどん。オープンした頃がちょうど「讃岐うどんブーム」のピークということもあり、連日ランチタイムになるとビジネスマンやOLが長蛇の列をなした。うどんブームが一段落した現在も、この行列だけは変わらない。それもそのはず。かけうどん(400円)に始まり、しっぽく、鴨南蛮など温かいうどんが13種類、冷たいうどんもざる(400円)、ぶっかけ、ごまだれなど8種類用意され、毎日食べても飽きることがない。トッピング用のれんこん、さつまいも、ちくわなどの天ぷらもオーダーしてから揚げしてくれるのでカラッと申し分なし! 愛媛名物ではあるが、「鯛めし定食」は昼のみ限定50食で売り切れ御免の超人気メニュー。一度は食べてみたい。



かおりひめ
松山秀典店長

~特集 みんなどこかでつながっている~

17時~23時の夜メニューは当然、お酒に合うものが中心。「とりあえずビールね」で飲み始める人が多いように、「とりあえず、白天とうるめいわしね」「とりあえずしょうゆ豆を」などとシンプルな一品で始める常連さんが多いとか。鯛、ひらめ、たこなど新鮮な魚介類はもちろん瀬戸内海産。天候が許す限りほぼ毎日、地元から空輸されてくる。これを地元の醤油につけて食べ、金陵、川鶴、綾菊などの地酒を飲めば、「ここはどこ?」まるでさぬきの地へ瞬間移動したかのようである。

松山秀典店長はいう。

「意外とねらい目はランチタイムが一段落する14時から17時。落ち着いて静かに食事ができる、ごひいきのお客様には好評です」

週末は同窓会も多く、その場合は夕方早めのスタートが、ゆったりできておすすめとか。

さっそく予約、入れときます?

(取材・文・撮影/昭和57年卒 伊東 麻紀)

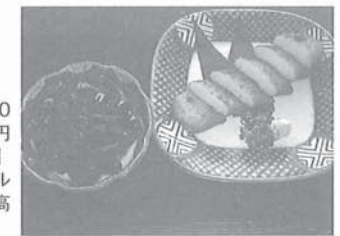


テーブル席、座敷、カウンター席合わせて71席。

かおりひめのおいしさいろいろ



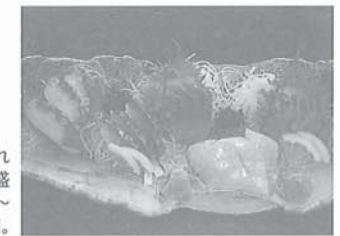
ぶっかけうどん
500円。豪快に
かき込みたい。



しょうゆ豆370
円と白天550円
は「とりあえず」
の定番。シンプ
ルな味ほど人気
が高いとか。



鯛めし定食は、鯛
めし、うどん、小
鉢2品、香の物で
850円!!



地元から空輸され
た新鮮な「刺身盛
り込み五点」は2~
3人前で3150円。

* 値段は取材時のものです。
* P.76の広告もご覧ください。

首都圏の美味しいうどん屋さん大集合

今年のテーマは「つながり」。讃岐人として「うどん」つながりを外す訳にはいかない！という事で、急遽、東京玉翠会会員の皆様から、首都圏の美味しいうどん屋さん情報を募集致しました。短期間にも関わらず多くの情報を頂きどうも有難うございました。皆様の「Quality of うどん Life」の向上に是非ともお役立て下さいませ。（敬称略）

金毘羅

住所 港区浜松町2-1-1
アクセス JR山手線浜松町駅から芝大門に向かって中央通り左側 大門交差点手前（地下鉄大門駅A1出口すぐ）
電話 03-3432-1047

だしがよく、おうどんも手打ちで値頃です。
小谷 文子（県女昭和20年卒）

一滴八銭屋

http://www.itteki.com/top.shtml
新宿本店：
住所 新宿区西新宿1-15-9 石井ビル2F・3F
アクセス 西口のヨドバシカメラの隣
電話 03-3342-8889
恵比寿店：
住所 渋谷区恵比寿南2-1-1 荻原ビル2F
電話 03-5723-8868

34年卒大藪恵弘さんの息子さんのお店。ポリシーは「たった一滴のつゆにも八銭のお代をいただいている。私達は、その重みを肝に銘じ、魂を込めてうまいものとうまい時間をつくり続けます」。白味噌に刻み生姜のきいたスープが人気の「白肉うどん」(830円)などの創作うどんが好評。東京讃志(34年卒)がよく集まっているお店。

三田にある姉妹店「滴屋(しずくや)」さんも美味しいと評判。

三崎屋 義正（高高昭和34年卒）

丸亀製麺 品川店

住所 港区港南2-17-1 京王品川ビル2F
アクセス 品川駅港南口のインターシティー2Fのスカイウォークの西側(山手線側)の最も南西の端の少し細めの連絡通路を一番端まで行ったところに立派な看板がでている。
電話 03-5463-6308

四国の製麺工場を再現したような演出で、四国から取り寄せた材料を使って目の前でこねて、打って、切って、茹でて、釜から上げてすぐ出すという徹底ぶりである。茹でて20分以上たったものは客に出さない。値段が280円がスタートで、とことんトッピングに凝っても500円には容易に達しません。また、家族うどんという、木のたらい(桶)に5~6人前入った釜揚げうどんは迫力十分である。

塩田 耕三（高高昭和45年卒）

讃岐うどん 綾

住所 川崎市宮前区犬蔵1-9-21
アクセス 東急田園都市線 宮前平駅 徒歩18分（宮前平からバス 犬蔵公民館下車2分）
電話 044-976-5433

既に関東圏では有名なうどん屋さんです。我が家から車で10分くらいなので2ヶ月に1回くらいの割合で訪問しています。以前ほどではなくなりましたが、あいかわらずの人気で、いつも列ができています。私のお薦めは「しょうゆうどん」です。サイドメニューのてんぶらもおいしくていつも食べ過ぎてしまいます。ご主人、奥さんもいい感じのカップルです。

linayu（高高昭和52年卒）

鯉鮓四国 東横店

http://www.udonnoshikoku.com/
住所 渋谷区渋谷2-24-1
東急百貨店 東横店西館9階
電話 03-3477-4836

ランチの時間はうどんが無料で大盛りに。コシがあるし、出汁も美味。定食セットもあり。

匿名希望（高高昭和42年卒）

讃岐うどん 綾川

吉祥寺店：
住所 武蔵野市吉祥寺南町1-1
吉祥寺駅ビル「ロンロン」地下飲食街
電話 0422-22-7928
秋川店：
住所 あきる野市秋川1-17-1 あきる野東急4F
電話 042-550-9870

秋川店は25年卒大林正明さん、26年卒大林(久保)美佐江さんご夫妻のお店。吉祥寺店は息子さんが経営。コシの強い手打ちうどんと、鯉鮓、昆布など厳選した素材で作っただしが美味しい。人気の天ぶらうどんは890円（吉祥寺店は892円）
庄村 敦子（高高昭和54年卒）

さぬきうどん職人 めりけんや 大泉学園店

住所 練馬区東大泉1-29-7
アクセス 西武池袋線 大泉学園駅構内
電話 03-5933-0053

OBの諏訪輝生さんが社長を務めているJR四国の関連会社のお店です。香川で製麺したものをお店で茹でるこだわりようです。トッピングは季節の野菜のかき揚げなどで、てんこ盛りにしても500円程度です。懐かしい讃岐の味「しょうゆ豆」とうどんをセットにした通信販売パンフレットもありました。他に、恵比寿、新橋、秋葉原、上野、武蔵小杉、関内の各駅にも業務提携店「さぬきうどんNRE&めりけんや」があります。

麵喰い男（高高昭和57年卒）

～特集 みんなどこかでつながっている～

葱坊主

住所 武蔵野市吉祥寺本町1-1-9-2F
電話 0422-29-0525

元商社マンだった42年卒長田光博さんが、同級生5人と作ったお店。長田さんは、店の近くの製麺所で麺を打っています。おすすめは半年かけて小豆島の醤油メーカーと共同開発した葱坊主専用の生醤油を使った「生醤油うどん」(630円) 大根おろしとスタチでいただきます。愛媛の小さな蔵元から仕入れている「宮の舞 生吟醸原酒」(750円)は、フルーティなお酒。冷でも熱燗でも楽しめます。

庄村 敦子（高高昭和54年卒）

でですけ

http://www.dedesuke.com/ebisu/
住所 渋谷区恵比寿1-8-14 大黒ビル2F
アクセス JR恵比寿駅西口すぐ
電話 03-3444-5511

47年卒千葉君代さんのお店。炙り焼きと讃岐うどんがコンセプト。料理がうまく、メの讃岐うどんも格別です。小生、お酒を嗜む習慣のない無粋者なので、お食事のみの利用ですが、大満足でした。海坊主のような店員さんがとても親切。

辻 篤（高高昭和57年卒）

高松

住所 渋谷区渋谷3-7-7 窪田ビル1F
アクセス JR渋谷駅東口・新南口 徒歩3分
電話 03-3406-0865

37年卒藤村(岡)節子さんのお店。毎年恒例になっている餡餅雑煮会開催場所として、玉翠会特に神田会とは切っても切れない関係のお店。夜の時間帯に登場するめくいん、冷たいいんどっちもOKのたらいうどんや、豪華なうどんすきが人気。

ささもち ゆき (高高昭和57年卒)

や乃家

住所 杉並区西荻北3-16-2
アクセス JR中央線 西荻窪駅北口、徒歩2、3分
電話 03-3395-8405

讃岐うどんとはまったく違う、細くてかなりコシの強いうどんです。基本的に汁は濃い目ですが、東京の蕎麦つゆによく言われる「真っ黒」というのではなく、関東以北の煮物の出汁のような濃さで、これが麺とすごく合っています。素うどんはなく、季節によってけんちん汁風のうどんが出たり、これからの季節は、おくらや納豆とサラダ風にふんだんにあえたり、定番メニューもあります。毎日替わりでどんなものが出るかわからないのも楽しみなお店。お魚とお酒がすごく美味しく安いお店でもあります。

卒業して東京に来てから、大いに間違えてうどんを食す不運に見舞われるたびに、家でカトキチの冷凍に慰められてきましたが、このお店だけは、本気で「美味しい」と思いました。たぶん素麺が「島の光」でないかと許せない御仁(全員?)は、このお店のうどんの歯ごたえをリスペクトすること請け合いです。一品なら1000円以内で、ボリュームたっぷり、ヘルシーです。

匿名希望 (高高昭和59年卒)

讃岐うどん さか田

住所 中央区銀座1-5-13 仰秀ビル2F
電話 03-3563-7400

大将は徳島出身だそうだが讃岐人も大納得。独特の動きと面構えもなかなか素敵である。うどんはもとより、しょうゆ豆やてんぷらなどサイドメニューも泣かせる。

オードリー1984卒 (高高昭和59年卒)

野らぼー 神田北口店

http://www.norabow.jp/
住所 千代田区内神田3-19-8 桜井ビル1F
アクセス JR神田駅北口 都営新宿線小川町駅
電話 03-5294-2626

善通寺の方がやっています。東京にありながらも讃岐っぽい味が「通」には嬉しい限りです。

土居 翔 (高高平成11年卒)

ご紹介頂いたお店を全てまわって実際に食べてみようと思いましたが、なにぶん時間に追われる毎日のこと、数軒訪れただけで、時間切れとなりました。総会が終わったらゆっくり賞味してまわるつもりです。皆様も是非!

(文/昭和57年卒 辻 篤)



バーチャルな世界でリアルなつながり再発見!

mixiの「東京玉翠会」コミュニティ

高高時代は親しかったのに遠く離れてなかなか会えない友人、気にはなっているけれど音信不通の先輩・後輩…。会いたくても実現するのはなかなか難しいですね。でもインターネットを通じてなら、いますぐにでも会える! 国内最大級のコミュニケーション・サイト「mixi」をご紹介します。



ある日、街をぶらぶら歩いていると突然、「もしかして旧姓横田さん?」驚いて振り向くと、そこには高高卒業以来まったく連絡をとり合っていなかったAさんが! なんと24年ぶりの再会である。

また、ある日、別の街を歩いていると、「どう考えても横田みっちゃんですね」おお、今度は高2で同じクラスだったBさん。彼女に「みっちゃん」と呼ばれるのも高校以来だ。

声をかけられてばかりではない。私も高3の時のクラスメートC君を発見! 当時あまり話したことはなかったけれど、彼はバンド部で私の主人と親しかったはず。さっそく主人から声をかけると案の定、彼は大変な驚きようだ。

これらは半年ほどの間に私の身に起こった本当の話である。でも再会の舞台は、現実の街ではない。SNSというバーチャルな世界での出来事だ。

ネット上の巨大コミュニティ集合体

SNSとはソーシャル・ネットワーキング・サービス(サイトとも)の略。最近ではテレビや新聞でも話題になることが多いので、耳にされた方もいらっしゃるだろう。なかでもmixi(ミクシィ)は国内最大の規模を誇る。会員数は400万人(5月15日現在)。基本的な機能は無料で利用できる。

実はさきほど私が「街」と呼んだのは、mixi参加者が立ち寄って自由に情報交換できるネット上の「コミュニティ」のこと。mixiには膨大な数のコミュニティが存在し、Aさんに声をかけられた街とは、「東京玉翠会」

コミュニティ、Bさんと再会した街は「The讃岐弁」コミュニティ、C君を発見した街は「高松高校」コミュニティだったのである。

再会の場としても、新しい出会いの場としても

かつて私は、ネット上のバーチャルなサイトという、見知らぬ人同士が出会うちょっと危ない場というイメージを抱いていた。しかし意外にも、これらのコミュニティを通じて次々と友人・知人と再会することに。mixiには「足あと」「マイミクシィ」「検索機能」など、つながりを見つけやすい仕組みがいろいろと盛り込まれているので、実は再会の場としてのポテンシャルが高かったのだ。

もちろん再会だけでなく、新しい出会いもある。しかし初めて知り合った方とも、このような「仕組み」のおかげで共通の知人や話題に自然とたどりついてしまうことが少なくない。

mixiの会員数はいま爆発的に増えていて、年内にも1,000万人を突破する勢いだそう。もしかしたら、あなたがずっと心に留めているなつかしいあの人も再会できる…かも?

(文/昭和57年卒 佃 美智代)

mixiに参加するには、参加者から招待状を発行してもらう必要があります。「そんな人まわりにいないよ～」という方は、下記のメールアドレスまでご一報を。東京玉翠会会員に限り、期間限定で招待状を発行させていただきます。参加された晩には「東京玉翠会」コミュニティにぜひお立ち寄り(筆者が管理人を務めています)。ほかにも「高高〇〇部」「高高〇年卒」といった高高関連コミュニティが多数存在します。なお、今回はmixiに絞ってご紹介しましたが、ほかにもGREEなど様々なSNSがあります。mixi_takako@yahoo.co.jp(佃宛て:2006年12月31日まで)

第23回東京玉翠会アンケート集計結果から

昨年度の総会では参加者の生の声を聞き次回への参考にしたいと、アンケートを試みまし
た。初めてのことで回収率も低く、参加者全
体の声を反映した結果になっているかは疑問で
すが、ここにその結果をご報告いたします。

私達56進行パートでは、十分に皆様のご希
望に添えなかった部分もあると存知ますが、今
後の総会にこのアンケートでの皆様のご意見が
反映され、益々充実した楽しい総会になります
ことを切に希望しております。

回答総数 124 (11%) 男女比6:4
回答者の年代 S14年卒~H17年卒

参加地域・出席回数と来年の参加意向

約1割の方が、関東地域以外(東海・京阪神
・四国)から参加されました。

甲子園効果が大きかったのか約1割の方が初
めての参加、10回以上という方も2割いらっ
しゃいました。一度参加して頂くと8割以上の方
がまた参加しようと思ってくれるようです。

総会

「総会はきっちり議事進行して欲しい」「何を
やっているのか議事進行が見えない」といった
ご意見を頂きました。これは参加人数が会場の
キャパシティを越えていること、既にアルコ
ールも配られ事実上懇親会となっている状況下
であることなど、単年度では解決できない問題
も含んでおり、反省会ではこれらのご意見はお
伝えしております。

アトラクション

S30年卒以前の方々に特に好評だったのが
「鏡開き」で、近くでじっくり儀式を見られる
位置にいらしたことも大きく関与しています。
S30年卒以降の方々に好評だったのが「ロボの
パン」と「スライド上映」でした。「うどんの
セルフ」は全体を通して好評でした。但し実際
にご自分でシャカシャカと湯通しできるように
手配しておりましたが、実行された方はいらっ
しゃらず残念でした。

今後希望するアトラクションとしては、くじ
引きや屋台など遊べるもの、母校出身のアーチ

スト紹介といったご意見を頂きました。

物販と通販

物販は、前回初めて「せとうち旬彩館」に全
面委託し、会場内では消費税無しで購入可能、
開場前から控え室で購入可能としました。商品
としてはうどんとてんぷらが約4割の方から支
持を受けました。一方で「物販の場所がよく分
らなかった」「帰りに会場外でも販売して欲し
い」「物販は何処でも買えるので不要」という
ご意見も頂きました。

また、前は県庁の県産品振興室のご協力の
下、通信販売も可能としましたが、通信販売に
ついて周知徹底することが出来ず利用者は少な
かったようです。

更に、参加者だけが購入できる目玉として「甲
子園出場記念地酒セット」を企画販売しまし
たが、重くて購入を断念した方もいらしたことな
どから会場内では完売に至りませんでした(後
日完売)。

料理

温かいうどん・いなり寿司などは好評でし
た。

前は特に、毎年少ないと思われるデザート
を思い切って増量しましたが、それでもデザ
ートが少ないというご意見が幾つかありました。
但し今までのデザートのご存知の方からは、例
年になく豊富だったというご意見を頂き、参
加したことがある方とそうでない方では、やは
り少し感じ方が違ってきます。

その他

参加人数が多く、「窮屈で狭く何処に何が
あるか分らなかった」「煩くて音響が悪い」「暑
い」など、今後参加者が増えていった場合生
じてくるだろうと思われる問題点も多々ご指
摘頂きました。また前は出来るだけ多くの方
に座って頂けるよう椅子席も増量しましたが、
安全性の問題上、椅子の配置にも限度があり、
ご満足頂けない点もあったと存じます。ス
ペース・音響・空調などは参加人数と会場の
収容可能人数との関係で決まってくる部分
もありますので、今後の課題と思われま
す。

(文/昭和56年卒 菊池 智津)

復元版

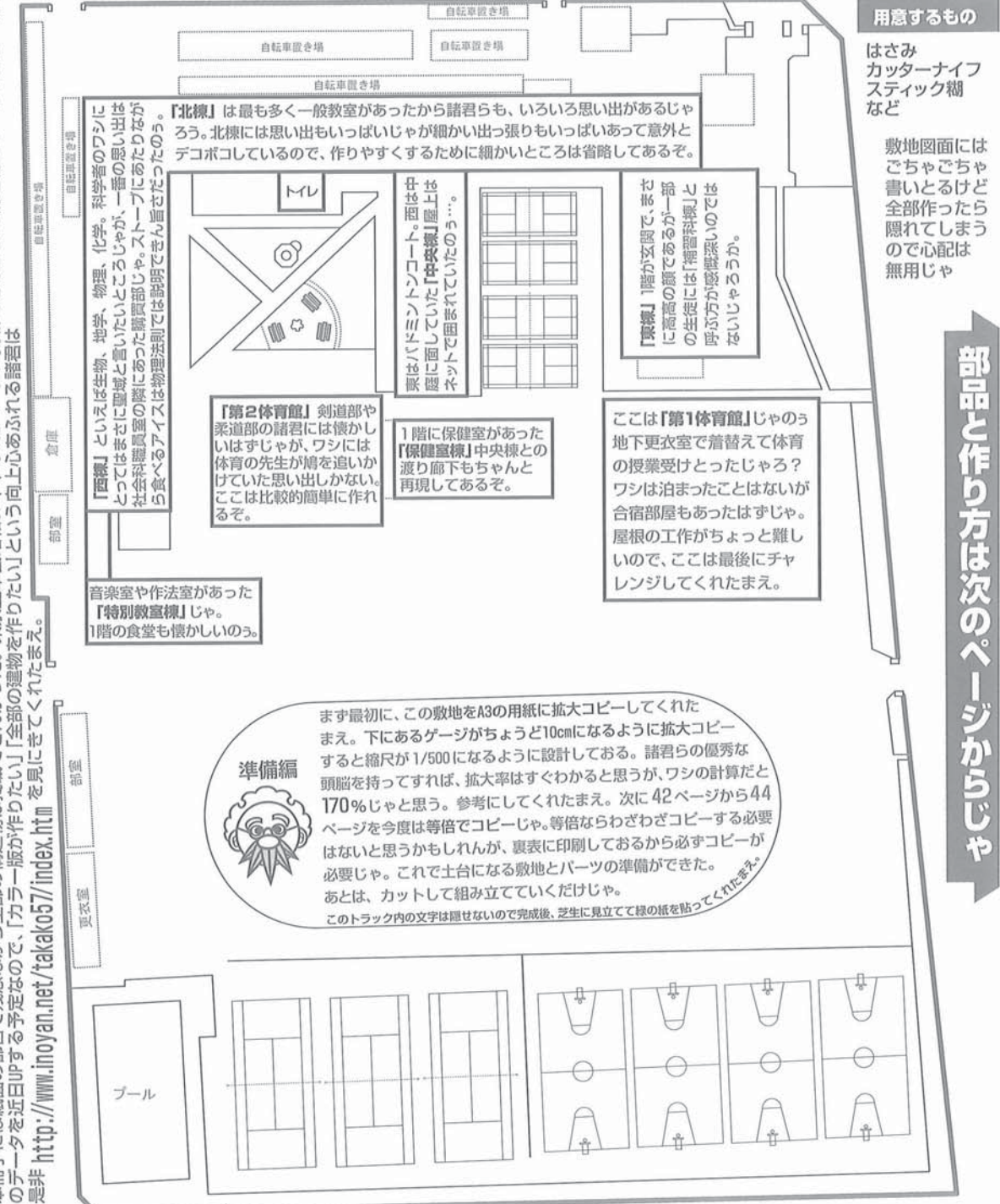
ユキモチザサ博士 監修
綴じ込み特別付録
香川県立高松高等学校
昭和57年版校舎
ペーパークラフトver. 0.9

諸君。ワシはユキモチザサ博士じゃ。
今回ワシは失われた「幻の昭和校舎」
を復元することに成功した。
しかも、諸君らが手軽に作れるよう
にペーパークラフトにしてみたぞ。
是非組み立てて、飾ってくれたまえ。



©TPO

本冊子には紙面の都合で残念ながら全部の構造物は掲載できなかつた。東京玉翠会昭和57年卒のWebページに掲載できなかつた構造物のデータやカメラデータは是非 <http://www.inoyan.net/takako57/index.htm> を見に来てくれたまえ。



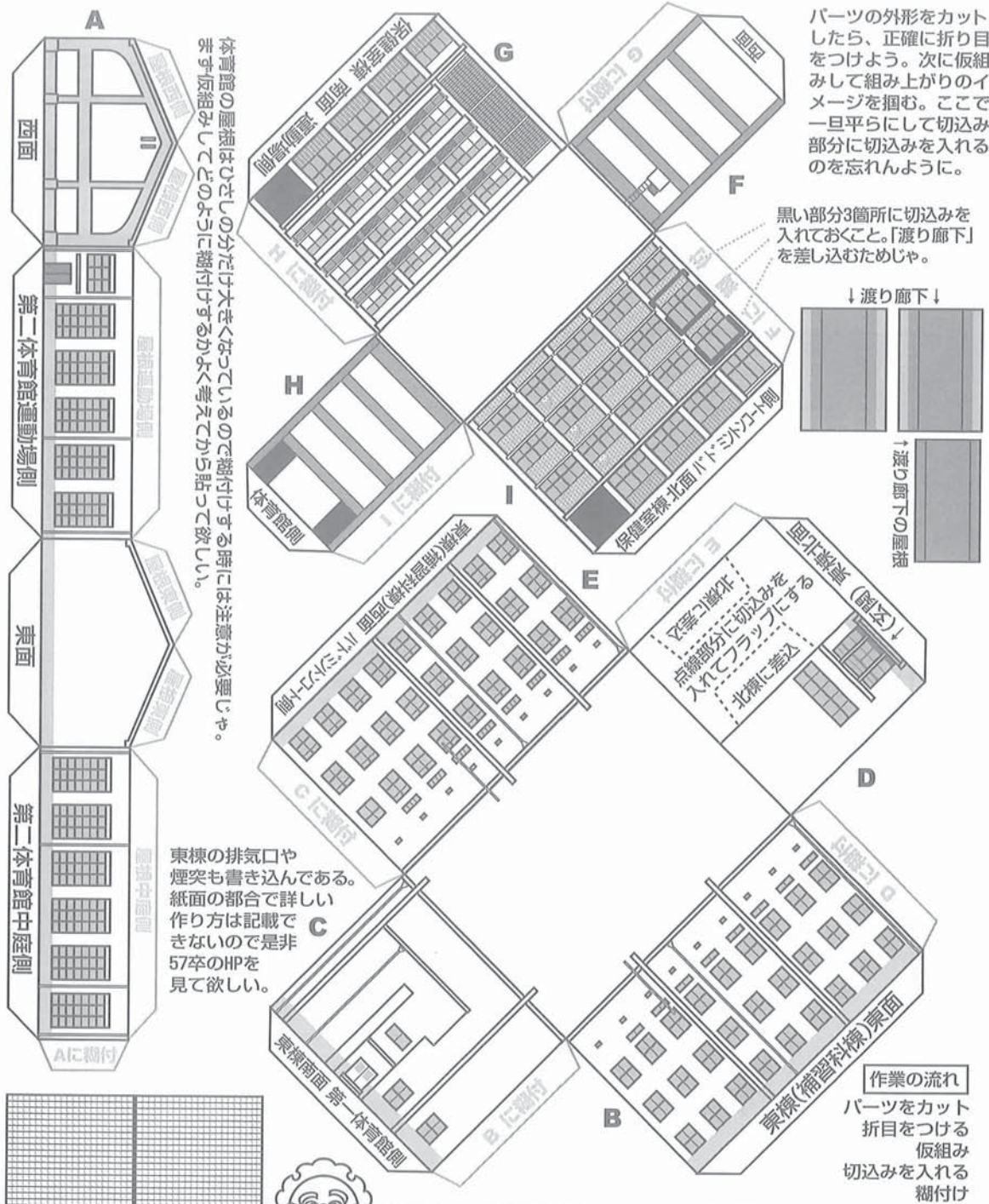
用意するもの

はさみ
カッターナイフ
スティック糊
など

敷地図面には
ごちゃごちゃ
書いたるけど
全部作つたら
隠れてしまう
ので心配は
無用じゃ

部品と作り方は次のページからじゃ

10cmになるように拡大コピー



体育館の屋根はひさしの分だけ大きくなってるので糊付けする時には注意が必要じゃ。まず仮組みしてこのように糊付けするかよく考えてから貼って欲しい。

東棟の排気口や煙突も書き込んである。紙面の部で詳しい作り方は記載できないので是非57卒のHPを見て欲しい。

博士のワンポイントアドバイス

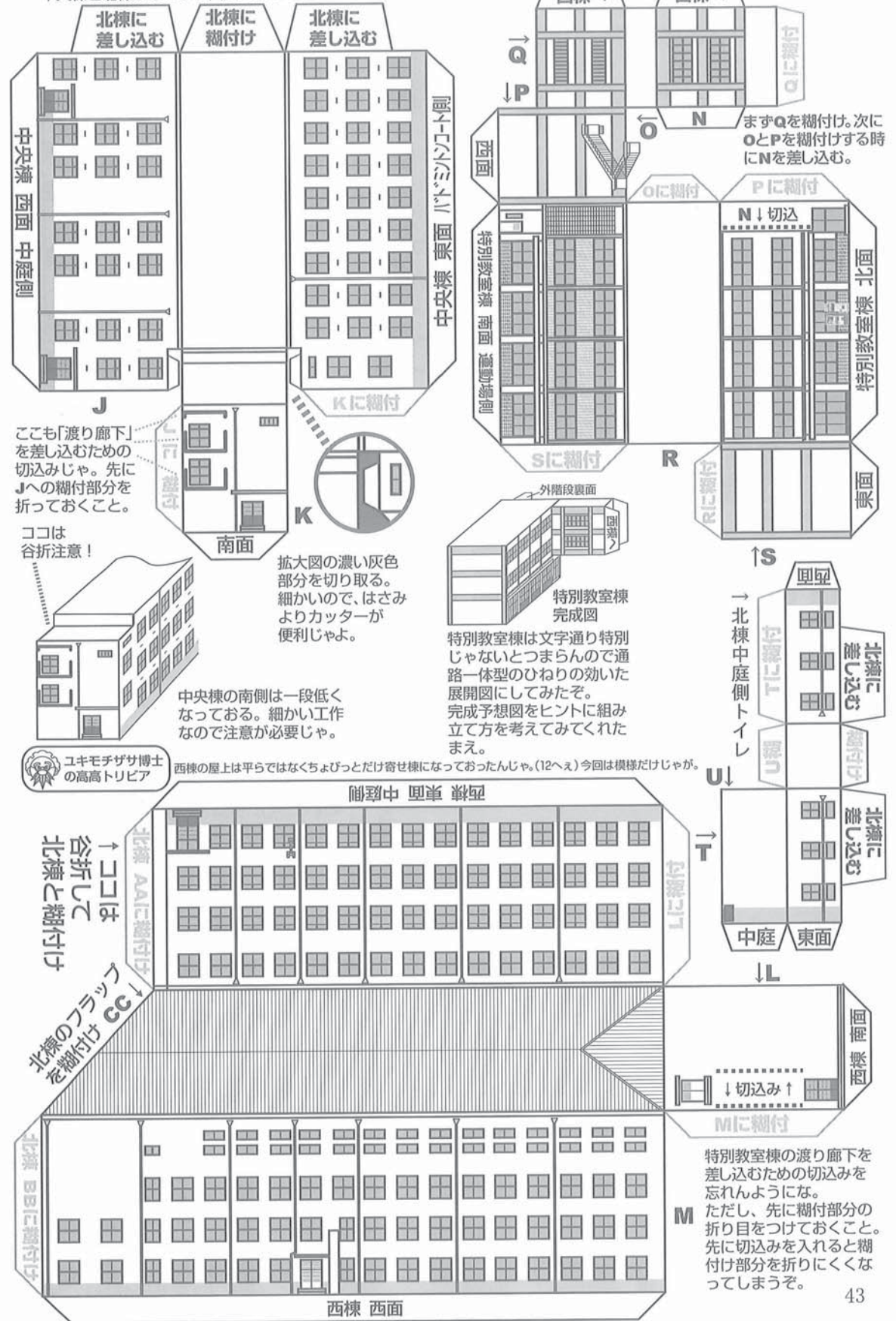
糊付け部分は透けないように薄いグレーになっておる。敷地に貼り付ける部分は隠れてしまうので黒文字になっておるぞ。敷地に貼る時の向きが書いてあるので間違えんようにな。

部品をカットしたらまず仮組みじゃ。ほとんどが山折なので谷折部分だけ指定を書いておるぞ。いずれの場合も実線に沿ってできるだけ正確に折ることが大切じゃ。正確に折るためには定規をあてて折るのが良いぞ。

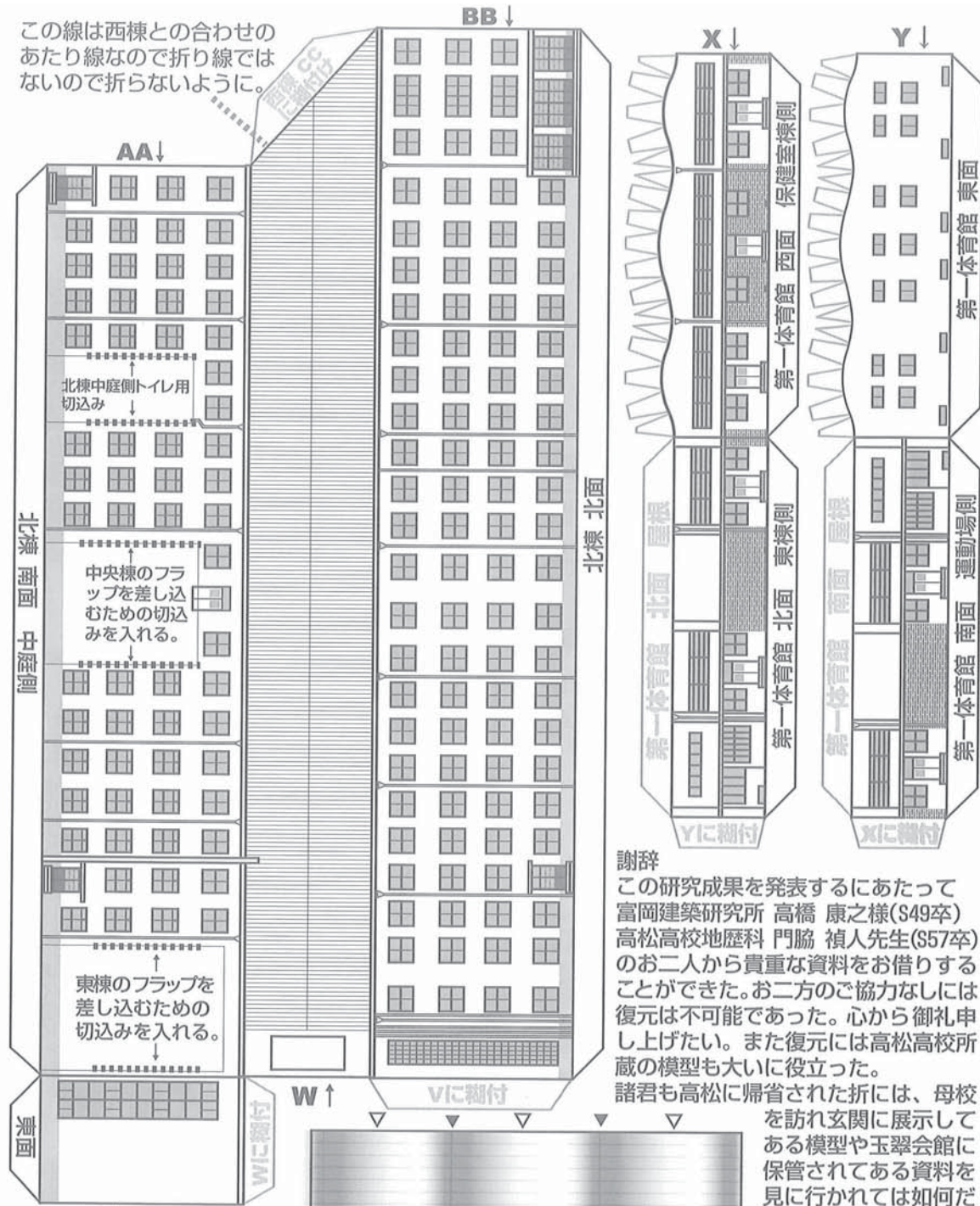
コピー用紙でも作れるが、もう少し厚め(厚さ0.12~0.15mm程度)の紙が作り易いので試してみてくださいませ。

↑第二体育館の瓦屋根

両側のフラップを北棟に差し込んで内側を糊付けすると中央棟と北棟がしっかり固定できるぞ。



この線は西棟との合わせのあたり線なので折り線ではないので折らないように。



最難関は第一体育館屋根じゃ。まず建物本体を作って、屋根のカーブのイメージを掴む。次に▽が山、▼が谷になるように丸い鉛筆などに巻きつけて波状に巻きグセをつける。この時、建物本体に合わせてみながら徐々に屋根の形を整えていく。ある程度整形できたら糊付けじゃ。糊が乾いたら端をちょっと跳ね上げるとリアルになるぞ。

謝辞
この研究成果を発表するにあたって富岡建築研究所 高橋 康之様(S49卒) 高松高校地歴科 門脇 禎人先生(S57卒)のお二人から貴重な資料をお借りすることができた。お二方のご協力なしには復元は不可能であった。心から御礼申し上げます。また復元には高松高校所蔵の模型も大いに役立った。諸君も高松に帰省された折には、母校を訪れ玄関に展示してある模型や玉翠会館に保管されてある資料を見に行かれては如何だろうか。玄関には高中、県女の校舎模型も展示されておるので、どの世代の方にとっても懐かしいはずじゃ。玉翠会館では秋以降に歴代の制服を展示するコーナーも設置されるそうである。こちらも必見と言えよう。(ユキモチザサ)

企画・制作 佃 康弘(S57卒)

玉翠会だより

徳島玉翠会

第二ラウンド

徳島玉翠会会長
太田 房雄
(昭和36年卒)

徳島玉翠会においては昨年ほぼ全役員が交替になり、新役員の下去る1月7日(土曜日)に第12回総会を開催しました。参加者数は予想より少なかったとはいえ、大変盛況で、一部の参加者からまた開催してほしいという要望も寄せられています。本日はこの総会の模様を報告させていただくとともに、新たな門出を祈念して発行した会誌(第1号)の表紙と参加者の集合写真を披露します。

大西玉翠会副会長、同会植松総務部長、また母校より大野副校長、渡辺進路指導部長がご出席のもと、母校野球部の甲子園出場という喜びをDVD上映で楽しみ、野球部長が校宝として命がけで持参して下さった最優秀応援の部で受賞した盾も堪能しました。



第12回徳島玉翠会総会
(平成18年1月7日)

本総会そのものも大学生から白髪の会員まで和気藹々とした雰囲気が進み、終わった後も立ち去りがたく、ホテルとの契約に反して予定時間を30分だけ延長して終了せざるを得ないほどでした(写真上段)。

この総会に際しては、会長初め役員が一致団結し、会誌第1号(右写真は表紙)を自作・配布しました。この会誌と前述の集合記念写真を後日会員約400名に郵送して18年度総会への出席を促しました。これは徳島玉翠会が始まって以来、初めての編集作業であり、また会員への情報提供活動でもありました。会誌には自作した広告をも掲載して、少しでも本会の今後の活動に役立つように役員一同張り切っていますが、会長としては息切れしないようにと祈るばかりです。

東京玉翠会の皆様には今後とも徳島玉翠会を暖かい目で見守っていただければ幸いです。最後になりましたが、第24回東京玉翠会総会が盛大に行われるように祈念します。



関西玉翠会

関西玉翠会2006年度事務局長

松下 泰衛

(昭和50年卒)

東京玉翠会第24回総会の開催を心からお慶び申し上げます。

関西玉翠会も毎年秋に総会を開催しており、例年300名余のご参加を頂いております。玉翠会京阪神支部から関西玉翠会と名称を改め今年で13回目、今年は9月30日土曜日に帝国ホテル大阪に於いて開催を予定しております。

また、今年から関西玉翠会においても東京玉翠会の同好会活動に準じた活動として「軽文学サークル」が活動を始めました。学生時代のクラブ活動とでもいえばよいのでしょうか、総会以外にも世代を超えて会員交流ができる場を提供していこうというものです。「軽文学サークル」では広く関西玉翠会の会員の皆さんから、新情報やエッセイなど自由にご寄稿を頂き、それを編集し、配信していこうとしています。事務局としてはこのような活動を積極的に応援していこうと考えております。

関西玉翠会では卒業後32年次となる学年（当年50歳となる学年）が主幹事を行うのが習わしとなっており、昨年より卒業後31年次となる学年がサポートする体制をとることになりました。昨年は母校高松高校の甲子園出場など、事務局主幹事としては非常にたいへんな1年であったと思いますが、49年会の諸先輩のご活動をサポートさせて頂きながら、私たち50年会も事務局のご苦労や心構えなど多くのことを学ぶことができました。同窓の諸先輩、後輩の皆さまの母校に対する熱い思いを改めて肌で感じることができましたし、この年齢になって初めてでしょうか、自分の心のルーツを考える機会ともなりました。

『世相・社会はこの10年ほどで大きく様変わりしようとしています。それがどのような形になっても、同じような心で付き合える人の縁を持っていることは大切なことではないでしょうか。地縁でもない血縁でもない、もちろん職縁でもない玉翠会はそんな縁なのではないかと思えます。この縁を意義深いものに育てていくためには、過去をなつかしく語り合うだけでなく、新しいことを一緒にやっていく場をもつことが大事ではないかと考えております。』（軽文学サークル設立趣意書より）

恐らく玉翠会活動に携わる皆さん、おひとり、おひとりのお気持ちはこの趣意書のとおりではないかと思っております。先の年次幹事会で、ある先輩から次のようなご意見を頂きました。

「第13回総会というカウントはあくまでも関西玉翠会としてのもので、それ以前の玉翠会京阪神支部としての活動が礎となっていることを忘れないで下さい。」

事務局主幹事は一生に一度の大役ではありますが、諸先輩から代々受け継いできた『駅伝のたすき』をきちんとリレーしていきたいと存じております。あわせて他地区の各玉翠会支部の皆さまとともに玉翠会の益々の発展に微力でも貢献できればと存じております。



2005年10月22日 第12回関西玉翠会総会
(ホテル日航大阪鶴の間に於いて)



関西玉翠会 藤井会長



玉翠会だより

岡山玉翠会

岡山玉翠会会長
辻 孝夫
(昭和30年卒)

ニューオリンズの水害や日本各地での地震、さらには黄砂も例年より凄いなどの天候異常が地球温暖化現象として気になる毎日ですが、東京玉翠会のみなさまお変わりなくご活躍のことと存じます。昨年、東京玉翠会へ出席して、出席者が1,200名に近いとは驚きましたが、日本を動かしている人達の中に玉翠会の方が沢山いることにも気付き、心強く感じると共に日本を良くするための責任も感じました。東京と違い岡山は地震も少なく、新鮮な魚、果物、水なども豊かで、郷里の高松より自然環境は恵まれているといつも幸せを感じています。

さて、昨年の第27回岡山総会(アークホテル・岡山、平成17年10月16日)(写真1)には恩師の溝淵利博校長、植松紀子先生、門脇禎人先生、来賓として真鍋武紀香川県知事、塚本修県議会議長、太田房雄徳島玉翠会会長、本部から多田野久会長、大西大介副会長などの出席をいただき楽しく開催いたしました。真鍋県知事から岡山で行われた国体での香川県の成績や、多田野会長から春の選抜野球大会での応援の最優秀賞受賞のすばらしさ、玉翠会の団結力の強さのお話など嬉しく伺いました。

岡山玉翠会は今年28周年になりますが、昨年の総会での溝淵校長先生の最近の高高の教育指針として、古典に学ぶ江戸時代の細井平州のお話には感動しました。「人の子を教育するは



第27回岡山玉翠会総会
(平成17年10月16日、於アークホテル岡山)

菊好きの菊を作るようにはすまじく、百姓の菜大根をつくるようにすべきこと」、良きも悪しきもみな食べられて世の人の役に立つということで、私達会員一同感動しました。

また、岡山玉翠会は、東京玉翠会から来られた岡山市助役の井口義也氏(昭和47年卒)に加え、昨年さらには仁木壮氏(昭和46年卒)が社会福祉法人で有名な旭川荘に厚生労働省から来られました。旭川荘は故川崎祐宣先生が川崎医科大学と共に創立した

医療福祉の巨大センターで、10施設(500床)の福祉センターと2つの厚生専門学院を持つ中四国地方の総合福祉センターです。ここに母校の高高出身の方が副理事長として就任されたのは、高齢化を迎えた我国では、とくに郷里の人達にとっても、誠に心強い思いです。今年の岡山新年役員会には早速出席いただき、太田武夫氏(昭和32年卒)、河野一郎氏(昭和34年卒)、清水育子氏(昭和32年卒)、3名の副会長、多田譲治事務局長、片山美穂会計担当理事達と楽しくお正月の会をしました(写真2)。向かって私の左が瑞宝双光章受章の横江了悦氏(昭和26年卒)です。

今年の岡山玉翠会だより(第49号、3月1日発行)の仁木壮氏と植村登氏のごあいさつ文(写真3)を掲載させていただきました。岡山玉翠会の会員350余名がますます心強くなっていることがうかがえます。



平成18年新年役員会
(平成18年1月21日、於アークホテル岡山・和食あくら)

(第49号) 岡山ぎよくすい会だより 平成18年3月1日発行(1)



発行責任者: 辻 孝夫 編集責任者: 多田譲治 題字: 植村登

伝統の底力

仁木 壮
(昭和四十六年卒)

昨年十月から、ご縁があつて岡山旭川荘で働くことになり、岡山玉翠会のお仲間に入らせていただきました。家族は横浜に住んでおり、今は單身生活ですが、近い将来、岡山に生活を一元化したいと思っています。これまでは、三十年間近く東京で働いていましたので、高高の同窓会といえば東京高商会、昭和五十八年からは東京玉翠会に変わりましたが、昨年の第二十三回総会まで、徳島に赴任していた時期を除いて毎回出席させていただきました。

出戻り幹事の甲子園

植村 登
(昭和三十三年卒)

十数年の放浪を経て一昨年岡山に戻って参りました。久し振りに玉翠会にも出席させていただきました。お会いしました。縁原初代会長をはじめ、め多数の先輩方が東洋に入られていました。改めて年月の隔たりを実感しこれからは諸先輩の芳害に根を固くももう一度幹事をお引受けしようと思つた次第です。

(第49号;平成18年3月1日発行から)



※印はチーフ（以下50音順）

総務パート（※辻篤、伊藤菜穂子、前川仁）

何となく流れて総務を引き受けて、改めて考えてみると、仕事を整理して人に割り振るのが(実は会社でも)苦手な私。仕事を抱えてしまって、皆様にご迷惑をかけたこと数知れず。ここまで来られたのは、お名前は列挙しませんが、関係者の皆様のおかげだとつくづく思います。本当にありがとうございました。(辻)

進行パート（※本田博之、神内健寿、羽野精一、表具典保、吉澤久美子）

「恵麻ちゃん、可愛いかったな～」 「野球部の森君、凛々しかったな～」 ちょっとちょっとチーフ、パンフの企画もええけど、進行の仕事もちゃんとせな～。チーフの力量から結成時より不安視された進行パート。巷の期待通り分裂と結合を繰り返しつつ、準備が一向に進まない中、ひたすら幹事団に混乱を巻き起こすことでその存在を誇示してきました。次回以降出入り禁止とならぬよう、最後まで全力を尽くすのみ！（本田）

司会（※和田康裕、吉澤久美子）

57年卒のみんなが東京玉翠会に徐々に集まり始めたのは数年前でした。初めて総会に出席し、1,000名規模のOB、OGが集う壮大な光景を見たとき、「なんだ、この集まりは！」と驚き、久しぶりに会った同級生に「元気？あんだ、なんしょんな！」と声をかけたことを今でも鮮明に覚えています。いよいよ総幹事となった今年。司会として、みなさんの『つながり』を深めることに少しでもお役に立てればと思っています。(和田)

動員パート（※竹谷仁、井池輝繁、内田久美、岡内眞一郎、小川義文、佐藤美佳、鳥居研志、鳥居多恵、前川仁）

昨年総会（第23回）の甲子園出場余波の大盛況の後を受け、いかに引き続き出席頂くか？他のパートからは、何パターンかの出席者数予想を出せと言われるなど、厳しいと思いつつも暖かい皆様のご支援を受けて楽観的の希望を持ちつつ活動に励んでいます。♪ケセラセラ～なるようになる。(竹谷)

広告パート（※森尾周治、斧田美佳子、和田康裕）

幹事団結成の時の引継で5月、6月が山場、との話を聞いてしまったばかりに、すっかり冬眠モードに突入。しかし、目が覚めたら今年はどうも雲行きが怪しい...これじゃまずい！ということで、広告集めに奔走始めたのが3月末。諸先輩と同期に支えられながら何とか目標達成（パチパチ）。高高つながりの底力を感じた広告パートでした。それからパート内の連携つ

ながりも完璧！かな。(森尾)

会計パート（※河津正人、田中英幹）

銀行員とエンジニアの組み合わせの会計パート。し、しかしチーフはエンジニアの方なのであった...おまえで大丈夫か？という声をもともせず、ひたすら金庫番とエクセルいじりに徹する毎日。その甲斐あって（!?）、幹事団から隠れた才能を認められ、ついにここまで辿り着いたのであった。「最近なんしょんな？」「はい。広告も予算を達成したし、進行の方も予算に収まりそうだし、あとは今日何人来てるかだあ～（汗）」(河津)

託児パート（※伊藤菜穂子、西村直子、宮高仁美）

託児パートの主な仕事はシッターさんになること...ではなくて、申込を取りまとめてシッター会社に依頼することです。パートチーフが学年幹事会に出席できず西村さんと宮高さんに大いに助けてもらいました。昨年通りで問題なかったのですが、やはり緊張したようで、お疲れ様でした！ 託児がないと出席不可能な方もいらっしゃるの、託児サービスを始めて下さった先輩、そして継続して下さった先輩には心からお礼を申し上げます。

託児パートの将来の夢は、利用者数が増えて大型遊具のある室内遊園地のような託児室を実現し、子供たちが是非来年も来たい！と言ってくれることでしょうか、やはり。(伊藤)

来賓パート（※河本勇臣、福家浩之）

単身赴任で約20年ぶりに香川から東京に舞い戻ったら、某氏から来賓担当やってくれんかとのこと。おとっちゃまな私がえらもんさんとコンタクトとることはじょんならんかったです。でも久しぶりに同期のみんなに会えて色々楽しかったです。(河本)

プログラムパート（※佃康弘、伊東麻紀、佃美智代、堀本勝敬）

敏腕編集者・翻訳者・映像関係者という文章・画像のプロフェッショナルが揃い、これなら楽勝と思っていたら、肝心のチーフの能天気ぶりが炸裂。いつの間にやら押せ押せスケジュールモードに突入も、各人の奮闘で挽回か？(5月31日現在)結果は当日のお楽しみ。皆様がこの冊子で「新しいつながり」を発見して頂けると幸いです。取材協力、寄稿して頂いた方々どうもありがとうございました。(佃(康))

次回総会幹事の昭和58年卒より

みなさんの記念になる
総会にします。
ご期待ください。

来年もぜひいらしてください。
お待ちしております。



卒業25年目に迎える第25回玉翠会総会幹事！

表紙デザイナー紹介

西宇 美奈子 (昭和57年卒)

東京都在住。1963年大阪府生まれ。

O型、木星人(-) (性格:まじめで、いいかげん(超矛盾!))

武蔵野美術大学造形学部卒業後、レコード会社を経て、その後グラフィックデザイナーとして独立。

主にジャケット、書籍カバーなどを手掛けて現在に至る。

脳年齢は59歳、筋力年齢は72歳、そして精神年齢は……『あの頃』のまま。あっちへフラフラ、

こっちへフラフラ。すでに『二度目の成人式』も迎えたというのに、まだまだ人生放浪中。

『おおきくなったら何になる?』なんて今だに考えてたりして。(笑)

御礼

私の好きな言葉に「金を儲けるだけのビジネスは、貧しいビジネスである」という警句があります。アメリカのある実業家の言葉です。あらゆる事業は言うまでもなく、利潤を追求しなければなりません。企業が存続していくための条件ですので、当然と言えば当然のことです。しかし同時に、利益の他にさまざまな付加価値を産み出さなければ、それは貧しい行為であって、合目的行動のみが正しい訳ではないという自戒の言葉とも受け止められます。ひるがえって同窓会という一つの営みを考えたとき、同窓会がビジネスであるはずはないのですが、あるアナロジーをもって、上の言葉を思い出すのです。

最近、「同窓会では、旧友に再会できればそれで十分」というような言葉をよく耳にします。果たしてそれだけでよいのだろうか。親しい友人や懐かしい同級生に会うことだけが同窓会の目的というのは、それは貧しい行為とは言わないまでも、あまりにも物足りない、あるいはもったいないことではなからうか。同窓会に参加し続けるうちに私はそう思うようになりました。約1,000人も同窓生が結集できるせっかくの機会なのです。「単なる再会」で終始するのではなく、集まったすべての人たちが、世代や地域、興味や関心を越えてひとつにまとまる事ができるならば、もっと大きな付加価値(伝統といっても構わないかも知れません)を創り出せるのではないのでしょうか。

最後になりましたが、諸先輩や事務局の方々、学年幹事の皆さん、広告主様、それから幹事団の一人一人……この小さな場所には書ききれないほど多くの方々の助けがあって総会を開催することができました。心より御礼申し上げます。

本当にありがとうございました。これからも宜しくお願い申し上げます。(辻 篤)

編集後記

■プログラム作りを通して、懐かしくも新しいつながりをたくさん発見できました。感謝!(麻)

■思わぬ困難に次々と直面しましたが、なんとか完成! 多くの方々のご協力に心より感謝。(美)

■少しでも今年のテーマ「つながり」につながれば幸いです。(勝)

■紙媒体の面白さと難しさを実感する数ヶ月でした。皆様お疲れさまでした。(康)

高松中學校校歌

(大正4年9月制定)

作詩 藤井静夫

作曲 安田俊高

Moderato



1. あ さ ひ か が や く や し ま や ま さ さ な み



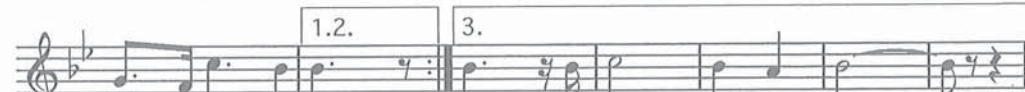
よ す る た ま も う ら へ い わ み な ぎ る そ の ひ び



き せ い き あ ふ る そ の ひ か り わ が ま な



び や に 一 み ち み ち て い そ し む け ん じ



い っ せ ん よ せ ひ る が へ せ ー

(電腦浄書/音源 26: 河江一仁)

一、朝日輝く屋島山
小波寄する玉藻浦
平和漲る其の響
生氣溢るゝ其の光
我が學舎に充ち満ちて
勤しむ健兒一千餘

二、御稜威と共にいや高く
朝夕仰ぐ碑は
日嗣の皇子の行啓の
千代に朽ちせぬ記念なる
奮闘努力の健男兒
ゆめな忘れそそのかみを

三、嚴冬霜雪色變へぬ
紫雲の松を名に負へる
我が中學の健兒等よ
堅忍不撓功遂げて
屋島山頭いや高く
名譽の旗を翻せ……翻せ

高松高等女學校校歌

(大正3年9月14日制定)

作詩 小原虎一
作曲 内藤 蝶

Andante
mp

1. みれどもあかぬたまものうら一ち
ひろのそこ一にしづ一くなる一そ
のしらたま一のうる一はしき一き
よ一きこころをみがかむみがかむを

1.2.3. *mp* 4. *rit.*

と一めわれ一2.あ一と一めわれ一

(電腦浄書/音源 26 : 河江一仁)

- 一、見れども飽かぬ玉藻の浦
千尋の底にしづくなる
その白珠の麗はしき
清き心を磨かむ
磨かむ…、をとめわれ
- 二、朝夕仰ぐ屋島の山
峰の上はるかに並び立つ
その山松の色變へぬ
高き操を守らむ
守らむ…、をとめわれ
- 三、開くる御代の幸多き
身にはつとめもさはなれば
うら若き日をたゆみなく
をみなの業を習はむ
習はむ…、をとめわれ
- 四、いや榮ゆく皇国の
生ける効ある御民ぞと
仁慈あまねき大君の
みこと畏み盡さむ
盡さむ…、をとめわれ

高松高等学校校歌

(昭和26年12月17日制定)

作詩 河西新太郎
作曲 芥川也寸志

con brio (♩=108)
mf

1. せいぎ一あらたなひにはえてあさぐもにおう
やしまやま おゝまゆきよきわこう一どが
こうがくのねんゆるぎなくはつらつこそ
るいきをみよよ

1.2. 3.

(電腦浄書/音源 26 : 河江一仁)

- 一、世紀新たな陽に映えて
朝雲匂う屋島山
おゝ眉清き若人が
向学の念揺ぎなく
深刺拳る意気を見よ
- 二、平和輝く波よせて
鏡と澄める玉藻浦
おゝ純潔の若人が
真理の道を究めゆく
独立自主の熱意見よ
- 三、仰ぐ紫雲の松風に
雪持笹のさみどりに
おゝ希望わく若人が
自由と愛の血に燃ゆる
わが高松高校の自治を見よ

高松高等学校校友会の歌

(…朝日輝く…)

作詩 藤井静夫
作曲 不詳

Moderato

1. あ さ ひ か が や く や し ま や ま さ
 さ な み よ す る た ま も う ら へ い わ み な
 ぎ る そ の ひ び き せ い き あ ふ る る そ
 の ひ か り わ が ま な び や に み ち み ち て い
 そ し む け ん じ い っ せ ん よ せ

(電腦浄書/音源 26 : 河江一仁)

一、朝日輝く屋島山
 さざ波寄する玉藻浦
 平和みなぎるその響き
 精気あふるるその光
 我が学舎に満ち満ちて
 いそしむ健児一千余

二、厳冬霜雪色変えぬ
 紫雲の松を名に負える
 我が高松の健児らよ
 堅忍不撓功遂げて
 屋島山頭いや高く
 名誉の旗をひるがえせ



高高 高高

1. 高高 高高 高高 栄えあるその名
 高高 高高 高高 我等が母校
2. 高中 高中 高中 栄えあるその名
 高中 高中 高中 我等が母校
3. 高女 高女 高女 栄えあるその名
 高女 高女 高女 我等が母校
4. 高高 高高 高高 栄えあるその名
 高高 高高 高高 我等が母校

天に二つの

1. 天に二つの 日あるなし
 ナインの王は 我が高々
 意気と力の 溢るところ
 勝利は常に 我等がかむり
 奮え、奮え、奮え、高々
2. 我等が打つは 球ならず
 我等が打つは 血と肉ぞ
 鍛えし腕は 炎となりて
 勝利は常に 我等がかむり
 奮え、奮え、奮え、高々



東京玉翠会会則

第1章 総 則

- (名 称)
第1条 本会は東京玉翠会という。
- (目 的)
第2条 本会は会員相互の連絡と親睦を図り、母校の発展を期することを目的とする。
- (事 業)
第3条 本会は前条の目的を達するため次の事業を行う。
(1) 会員相互の連絡と親睦を図るための会合その他の行事
(2) 会報、会員名簿の発行
(3) 母校の発展に寄与すると認められる事業
- (事 務 局)
第4条 本会の事務局を東京都内に置く。
2 事務局には事務局長および会計担当の他、若干名の事務局員を配置する。
3 事務局員は事務局長の指示のもと各々局務を分担する。
4 事務局長および会計担当の選任は第10条第4項の定めによる。
5 事務局員は会員の中から事務局長が指名する。
- (会則改正)
第5条 本会則の改正は幹事会の決議による。

第2章 会 員

- (会 員)
第6条 本会は、香川県立高松中学校、同高松高等女学校、同旧高松高等学校、同旧高松女子高等学校及び同高松高等学校（以上の5校を「母校」という。）の卒業生（これに準ずる者を含む。以下「通常会員」という。）並びに母校の旧職員（以下「特別会員」という。）であって東京都及びその周辺に在住するものをもって組織する。
- (部会の設置)
第7条 本会には、第3条の事業を行うため、母校別の部会を置くことができる。
2 部会の運営は、その所属会員の協議による。
- (会 費)
第8条 通常会員は年会費を納入しなければならない。
2 年会費の額は、常任幹事会の決議によりこれを定める。

第3章 役 員

- (役 員)
第9条 本会に次の役員を置く。
(1) 会 長 1名
(2) 副 会 長 若干名
(3) 常任幹事 若干名
(4) 事務局長 1名
(5) 幹 事 その員数は次条第2項の定めによる
(6) 監 事 3名
- (役員を選出)
第10条 会長、副会長及び監事は総会において選出する。
2 幹事は各卒業年次毎に通常会員の互選により各若干名を選出する。
3 常任幹事は会員の中から会長が指名する。
4 常任幹事のうち1名を事務局長、1名を会計担当として会長が指名する。
- (任 期)
第11条 役員任期は2年とし、重任を妨げない。但し、補欠により就任した役員任期は前任者

の任期の残存期間とする。

- (役員職務)
第12条 会長は本会を代表し、会務を統括する。
2 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときは会長の職務を代行する。
3 常任幹事は常任幹事会を構成し、重要な事項の審議及び決定を行う。
4 幹事は同期生の消息を把握しその連絡にあたるほか、幹事会を構成して会務の執行を決する。
5 監事は本会の会計を監査する。

第4章 会 議

- (総 会)
第13条 総会は会長の招集により毎年1回開催する。なお、必要ある場合は臨時総会を開催することができる。
2 総会においては次の行事を行う。
(1) 会務及び会計報告
(2) 本会則の規定による役員を選出
(3) 会員の親睦を図る行事
(4) その他会長が本会の運営に必要と認めて諮った事項の審議及び決定
- (幹事会・常任幹事会)
第14条 幹事会及び常任幹事会は必要の都度会長が招集する。
- (議 長)
第15条 総会、幹事会及び常任幹事会の議長は会長があたる。
- (議 決)
第16条 総会、幹事会及び常任幹事会の議決は出席者の過半数をもってこれを行う。可否同数のときは議長の決するところによる。

第5章 会 計

- (会 計)
第17条 本会の会計は年会費、寄附金その他の収入による。
(会計年度)
第18条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第6章 そ の 他

- (顧 問)
第19条 本会は常任幹事会の推薦により顧問を置くことができる。
2 顧問は会議に出席し、意見を述べることができる。
- (委 員 会)
第20条 本会は、特定の事項に関する企画、研究、立案又は対策のため幹事会の議を経て委員会を置くことができる。
2 委員の選任は会長の指名による。

- 附 則
第1条 本会則は昭和58年6月25日より施行する。

- 附 則
第1条 本会則の改正規定は平成15年6月7日から施行する。

- 附 則
第1条 本会則の改正規定は平成15年11月29日から施行する。

東京玉翠会役員名簿

会長 昭和34 渡辺 修	常任幹事 昭和31 宮武 敏夫 昭和33 大西 昭一郎 三宅 貴子 昭和34 三崎屋 義正 昭和38 前田 勇 昭和40 末包 昭彦 昭和42 入江 久 昭和43 小島 豊子 昭和44 片山 秀樹 昭和45 池上 晴英 昭和46 仁木 壮 昭和47 土居 範行	常任幹事 昭和49 北村 篤孝 (事務局長代行) 昭和50 湊崎 正弘 昭和51 大喜多 俊彦 昭和52 植松 健
副会長 昭和27 永野 精子 昭和38 高田 トシ子		監事 昭和20 松本 僑子 昭和23 岡内 伸一 昭和52 合地 仁美
常任幹事 昭和13 乾 浩三 昭和14 木下 薫 昭和15 堤 久子 昭和20 中村 文俊 和波 良子 昭和27 久保 醇治		事務局長 昭和49 岩崎 昭宏

東京玉翠会高中部会幹事名簿

36回(昭和6) 佐藤 國夫	46回(昭和16) 赤澤 俊一	54回(昭和23) 岡内 伸一*3
37回(昭和7) 川西 工	藤井 勲	丸吉 幸也
38回(昭和8) 安松 康司	47回(昭和17) 岡坂 逸平	55回(昭和24~25)
39回(昭和9) 頼富 龍太郎	48回(昭和18) 宮田 和信	牧野 章夫
42回(昭和12) 山内 省三	49回(昭和19) 橋本 暹	55回(昭和25) 川添 和夫
和田 康平	50回(昭和20) 中村 文俊*2	56回(昭和26) 入谷 幹郎
43回(昭和13) 乾 浩三*2	堀家 勇	藤井 富弘
44回(昭和14) 木下 薫*2	51回(昭和20) 塩本 豊	57回(昭和27) 天野 昭敏
45回(昭和15) 十河 京一	萱原 博美	久保 醇治*2
	53回(昭和22) 千馬 正三	
	細溪 美古	

東京玉翠会晩翠部会幹事名簿

昭和3 藤本 須磨子	昭和15 堤 久子*2	昭和19 岡坂 晴子
昭和4 松浦 三知子	昭和16 酒井 慶子	山下 ゆき子
昭和8 鈴木 綾子	昭和17 日下 徳子	昭和20 陶山 和子
昭和9 品治 春子	釋 弘子	松本 僑子*3
瀬尾 安	昭和18 永田 明子	和波 良子*2
昭和10 柏原 絢	原口 和子	昭和21~22 藤原 寿子
昭和12 久保 利	森田 美津子	昭和23~24 星野 昭子
昭和13 高田 慶子		

*1 東京玉翠会副会長 *2 東京玉翠会常任幹事 *3 東京玉翠会監事
*4 東京玉翠会事務局長 *5 東京玉翠会事務局長代行 # 学年代表

東京玉翠会(高高)幹事名簿

昭和23~24 岡内 伸一*3#	昭和36 岡本 光平#	昭和47 土居 範行*2#	前川 仁#	平成7 川口 悠子#
丸吉 幸也	昭和37 岡崎 洋#	昭和48 多田 泰三#	森尾 周治	平尾 禎秀
昭和25 川添 和夫#	喜岡 俊英	藤川 盛夫	和田 康裕	平成8 野島 理史
富田 和子	須永 玲子	真鍋 賀孝	昭和58 佐々木 英夫#	平成9 矢野 和樹#
昭和26 田中 博子	昭和38 小杉 忠夫#	昭和49 岩崎 昭宏*2*4#	真鍋 一志	平成10 鎌田 長明
前田 道則#	高田 トシ子*1	岡 正晶	昭和59 安西 浩樹	東山 大助#
昭和27 天野 昭敏	立山 真浩	北村 篤孝*2*5	池田 佳睦	平成11 小河 恵理
久保 醇治*2#	前田 勇*2	昭和50 今竹 泰典	木下 勝	片山 進亮
佐藤 哲男	小倉 良弘	高木 賀光	神内 一郎#	平成12 木村 優介
永井 美枝	中西 登紀子	湊崎 正弘*2#	津田 千枝	加治 貴弘#
永野 精子*1	原内 紀夫#	昭和51 大喜多 俊彦*2#	橋谷 建	戸島 陽平
吉田 良子	昭和40 末包 昭彦*2	佐藤 ひとみ	昭和60 春日 留美#	平成13 香西 真里
昭和28 三好 知三#	橋詰 信子	昭和52 植松 健*2#	昭和61 神部 順子#	小坂 絵美#
昭和29 長谷川 汎#	樋口 憲夫#	神崎 俊	昭和62 篠崎 琢磨#	坂 俊甫
昭和30 白井 勝子	昭和41 岩村 わか子#	合地 仁美*3	西口 敦	平成14 川池 拓人#
藤本 博司#	織田 孝正	野中 真理	昭和63 靱 勝彦	三谷 和己
昭和31 宮武 敏夫*2#	入江 久*2	昭和53 小山 宏記#	乙川 みち子	平成15 近藤 誠#
渡辺 浩	恵比須 忠	土田 充	佃 英樹#	平成16 三日月 佑梨
昭和32 鶴澤 敬子	平川 峰子	長尾 みどり	平成1 齊藤 利幸#	宮武 勇登#
片山 良史#	渡辺 泰充#	廣瀬 史明	日向 みき	
濱田 清	昭和43 小島 豊子*2	松野 和彦	平成2 谷口 哲也#	
昭和33 井上 榮#	山根 光生#	昭和54 今井 万里子	平成3 三好 克浩	
大西 昭一郎*2	昭和44 遠藤 隆江	庄村 敦子#	平成4 石田 美佐子	
三宅 貴子*2	片山 秀樹*2#	昭和55 池上 茂#	大須賀(吉野) ユリ子#	
昭和34 西川 紀男	長嶋 博宣	永由 美保子	平成5 河西 寿幸#	
三崎屋 義正*2#	昭和45 池上 晴英*2#	昭和56 小見山 紀絵	山添 佳恵	
村上 雅子	岡内 欣也	榊原 みどり	平成6 白瀬 健二#	
頼則 絢太	金井 誠一郎	佐藤 賢治	平成7 片山 武治#	
昭和35 小野 利明	間島 健一	西口 伸二	寺田 陽子	
三宅 治美	昭和46 柏原 充男	三好 英彦#	山口 潤	
	仁木 壮*2#	昭和57 辻 篤		
		本田 博之		

寄贈図書目録

皆様にご協力いただきました母校図書購入資金で、下記の図書が特別コーナーを設けて揃えられております。今年もなにとぞご協力をお願いいたします。

年度	出版社	書名	巻数
平成7	岩波書店	幸田文全集	15
7	岩波書店	1000万人のコンピュータ科学	3
7	集英社	中上健治全集	9
8	集英社	中上健治全集	6
8	岩波書店	幸田文全集	13
8	岩波書店	丸山眞男全集	8
9	文泉堂	壺井栄全集	10
9	日本図書センター	作家の随想	10
10	朝倉書店	図説 世界文化地理大百科	5
11	朝倉書店	図説 世界文化地理大百科	4
11	岩波書店	志賀直哉全集	14
12	岩波書店	志賀直哉全集	7
12	朝倉書店	図説 世界文化地理大百科	4
13	岩波書店	鷗外歴史文学集	13
13	朝倉書店	図説 世界文化地理大百科	3
14	小学館	世界美術大全集 西洋編	8
15	小学館	世界美術大全集 西洋編	8
16	小学館	世界美術大全集 西洋編	8
※17	岩波書店	七冊目の本「日本人の手紙」	
17	小学館	世界美術大全集 西洋編	5
17	小学館	世界美術大全集 東洋編	4

※17：高中昭和15年卒 村尾清一氏（日本エッセイストクラブ会長）より、寄贈いただきました。

皆様のご芳志に対して、心から厚くお礼を申し上げます。
ご芳志を上記の図書にかえて、「同窓会寄贈文庫」の銘を付し、在校生・職員等の閲覧に供してありますことをご報告いたします。

平成18年5月 高松高校図書館



パリ21区へようこそ

空と海に映える近未来の街・お台場。
ハイセンスなパリのエスプリとともに
優雅なホテルリゾートをお過ごしください。

ホテルグランパシフィック メリディアン

TEL(03)5500-6711

〒135-8701 東京都港区台場2-6-1
<http://meridien-grandpacific.com>

躍動する品川、 やすらぎとおもてなしの街のオアシス

高輪の杜と美しい日本庭園、30階からの眺望、
東京駅から15分、品川駅正面という
まさにシティホテルの魅力がここに 있습니다。

ホテルパシフィック東京

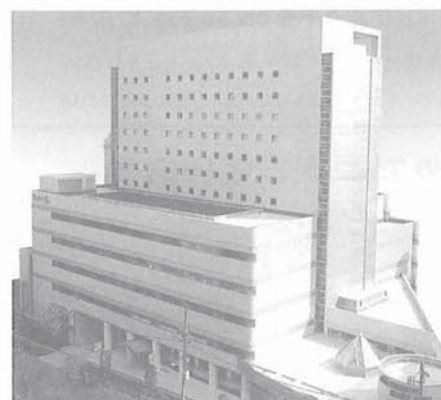
TEL(03)3445-6711

〒108-8567 東京都港区高輪3-13-3 品川駅高輪口正面
<http://www.pacific-tokyo.com>



品川にひとクラス上のくつろぎを

品川駅前の交通至便なロケーション。
最新の設備と“過ごす”快適さを大切にした客室は、
ビジネスのターミナル基地として最適です。



高輪京急ホテル

TEL(03)3443-1211

〒108-0074 東京都港区高輪4-10-8 (品川駅高輪口徒歩2分)
<http://www.takanawa-keikyu-htl.com>

株式会社 ホテル京急

〒108-8567 東京都港区高輪3-13-3
TEL (03) 3445-6711 (代表)
FAX (03) 3445-5733

心のふれあい 技術のかけはし
極東産業株式会社

取締役会長 中村文俊 (高中50回卒)

■装置・機械 (汙過機・攪拌機・熱交換器) 本社 東京都港区新橋5-10-5
 ■設備機器 (タンク・パイプ・伸縮継手等) ☎03-3433-4761
 ■防蝕ライニング ■エンジニアリング・工事 中部支店・鹿島支店

大西昭一郎法律事務所

弁護士 大西 昭一郎 (高高33年卒)

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-1-1 国際ビル829区
 TEL 03-3212-0841 (代表)

INOUE
 井上美術印刷株式会社
 TEL.03-3819-0821 (代)

adc
 (株)エイデザインセンター
 TEL.03-3809-0591

〒116-0001 東京都荒川区町屋1-4-9 FAX. 03-3895-5367

代表取締役 井上 榮 (高高33年卒)

HACL <http://www.hacl.jp>

是非一度ホームページをご覧下さい
 幼稚園・保育園でご好評 園児を見守る技術の目 IPカメラと長時間録画装置
 パソコン・携帯電話からお店・工場・営業所の様子がリアルタイムで観られる遠めがね

平川音響株式会社 取締役総務部長 平川峰子 (武上42年卒)

〒169-0072 東京都新宿区大久保2-12-12 TEL03-3232-3001 FAX03-3232-8110

東京玉翠会第24回総会おめでとうございます。



昭和53年卒 長尾みどり

〒104-0061
 東京都中央区銀座6-6-14
 銀座パレスビル4F
 TEL&FAX 03-5568-5586

うどんサービス券
 本券をご持参いただきご飲食
 いただきましたお客様に、
 うどんをサービスさせていただきます。
 平成18年中有効

日活芸術学院

■映像科 (映像創作科・映像技術科・映像美術科)

■演技科

S49卒 香西 靖仁

学院長 木村 威夫 (映画美術監督)

映画・映像の製作拠点、撮影所で学ぶ

ホームページ <http://www.nikkatsu.com/school/>

資料請求 ☎0120-832-443 ホームページからも
 申込できます

〒182-0023 東京都調布市染地2-8-12日活撮影所内
 TEL 042-485-2443 (代表) FAX 042-487-1210

石、ガラス、アクリル、ステンレスのサンドブラスト
 石工事

株式会社 FB企画

小杉 忠夫

〒152-0032
 東京都目黒区平町1-13-9
 TEL 03(3723)0671
 FAX 03(3723)0672

松尾江森国際特許事務所

弁理士 松尾 誠剛
 (昭和49年卒業)

〒160-0022
 東京都新宿区新宿1-11-3
 エクセル新宿御苑ビル5F
 TEL: 03-5367-5072、FAX: 03-5367-5074

(長野ブランチ)
 〒399-0214
 長野県諏訪郡富士見町落合9862番地60
 TEL: 0266-62-5741、FAX: 0266-62-8020

(こちらに常駐しています。夏は涼しくて天国です。)



北陸のリゾート ホテルアローレ



0761-75-8000 <http://www.arrowle.co.jp>

〒922-0402 石川県加賀市柴山町と5-1

昭和43年卒 総支配人 佐々木 成人

ふるさと体験郷

四国村



- 高松空港から15km
- JR高松駅から6km
- 琴電屋島駅から徒歩5分

年中無休

香川県高松市屋島中町9-1番地
 TEL: 087-843-3111

昔ながらの製法による熟成の香り一味



こんぴらや販売株式会社

代表取締役 丸吉 幸博
 (昭和27年卒)

〒766-0013 香川県仲多度郡満濃町東高篠1140番地

TEL:0877-73-2755 FAX:0877-73-2955

昭和43年卒業生集まれ!

みんな、なんしょんな
 連絡いたー
 メールリストで関東・関西・高松と、
 時空を超えて旧交を温めています。
 小島・山根まで連絡ください
 TEL 03-3374-5573 小島

祝

第24回 東京玉翠会総会開催
 東京 高高昭和52年卒業生一同



CARGO CRANE
Rac
RADIO & FINGERTIP CONTROL

Racはカーゴクレーンの
新しいブランドです。



スタンダードを変える。トップレベルを変える。

すべての作業をラジコンでこなせ、オペレータは安全な場所からゴッド・ハンド操作。人気のフック・イン、フック・アウト機能はもとより、プロセス連動操作も片手で自在にこなせます。「作業効率が上がった!」「安全作業が増えた!」、それはRacの仕業です。タダノならではの「使いやすさ」が高度に進化したニューブランド、カーゴクレーン Rac「ラック」シリーズです。

株式会社 **タダノ** 本社/香川県高松市新田町甲34番地 TEL.087(839)5555(代表)
東京事務所/東京都墨田区電沢2丁目4番12号タダノ両国ビル TEL.03(3621)7777(代表)

タダノホームページアドレス
<http://www.tadano.co.jp>

ANABUKI

マンションはサービス



鍵をお渡ししてから、
本当のおつき合いが始まる・・・。
住み始めたあなたを、
ずっと快適でサポートするサービスです。

穴吹工務店イメージキャラクター あなぶきちゃん



- 住み替えサポート "まかせ太くん"
- アフターサービス
- マンション管理
- 日用品宅配サービス "サーパス・ラクテス・システム"
- 多機能メンバーズカード "サーパスカード"
- 住まいのリフォーム
- インターネット情報サービス "サーパスネット"
- 土地の有効活用 "ベストワンシステム"

この他にも、さまざまなサービスで快適な暮らしをサポートいたします。

皆様にご愛用されています。穴吹工務店のサーバスマンション。

2005年 事業主別マンション発売戸数 **第2位** 全国ランキング

サーバスマンション 全国で **1000棟** 達成

1000棟物件/サーパスつくば研究学園(茨城県)

快適な暮らしを創る

穴吹工務店

建設業許可 国土交通大臣(特-14、特-16、特-17)第1478号 宅地建物取引業免許 国土交通大臣(10)第1545号 (社)首都圏不動産公正取引協議会加盟 (社)不動産協会会員 (社)日本リゾートクラブ協会会員 / 本社:〒760-8520 香川県高松市藤塚町1-11-22 TEL:(087)835-7111(代) / 東京本社:〒104-8478 東京都中央区八重洲2-6-21八重洲エフビル TEL:(03)3517-2800(代) / 支社:東北・関東・東海・関西・中国・四国・九州 / 支店:札幌・秋田・仙台・山形・郡山・宇都宮・水戸・前橋・東京・甲府・新潟・長野・静岡・名古屋・富山・金沢・大津・京都・大阪・和歌山・岡山・広島・周南・鳥取・松江・高松・松山・徳島・高知・福岡・大分・熊本・長崎・宮崎 / 営業所:盛岡・福島・松本・沼津・浜松・岐阜・津・福井・奈良・明石・岡山・下関・米子・佐賀

サーバスマンションの物件情報をダイレクトでご覧いただけます▶ www.384.co.jp

穴吹工務店ホームページアドレス▶ www.anabuki.co.jp サーバスマンションの物件情報が携帯電話でもご覧いただけます▶ www.384.co.jp/i

祝

第24回 東京玉翠会総会開催

東京晩翠部会

藤井法律事務所

弁護士 藤井 富弘
(高高26年卒)

〒105-0004 東京都港区新橋1-18-12 新橋1丁目ビル3階

TEL (03)3593-7605

FAX (03)3593-7607

足立・ヘンダーソン・宮武・藤田法律事務所

弁護士 宮武 敏夫
(高高31年卒)

〒107-0052 東京都港区赤坂1-6-8

井上赤坂ビル5F

TEL 03-5562-0910

FAX 03-5562-0916

快適都市創造集団

都市開発・市街地再開発・リゾート開発
オフィス・ホテル・ショッピングセンター
集合住宅等の企画・設計・コンサルティング

〒550-0014 大阪市西区北堀江1-19-1 八光心斎橋ビル

TEL 06-6532-8700(代)

FAX 06-6532-3939

一級建築士事務所
株式会社 **IAO竹田設計**
IAO TAKEDA ARCHITECTS ASSOCIATES

代表取締役 竹田 秀道 (昭和35年卒)
(社)日本建築家協会会員

暑中お見舞い申し上げます



詰めた、いいアイデアあります。

ツクダ・プランニング・オフィス
商品企画・コピーライティング・マーケティング・デザイン



佃 康弘 (昭和57年卒)
090-5327-2219
tsukuda@venus.dti.ne.jp
http://www.tpotpo.com

GBAがプロデュースした
「ハコイヌ展」「ハコイヌ原画展」が本になりました！



飼い主を探してがんばって旅をしているハコイヌを応援してください！貯金箱組み立てキット&クリップしおりつき。全国の書店で好評発売中。GBA通販でもお求めになれます。

http://www.j-gba.com
発行: スポーツサポートシステム
発売: 文苑堂
ISBN4-938343-49-5
定価: 本体1500円+税
プロデューサー: 吉澤久美子 (S57)

元気なママ世代を中心に、「3世代コミュニケーション」「食育」「放課後」「アジア」の4つのテーマで、子どもたちが集まる場所と全国各地のすてきな場所をつないで情報発信中の3世代わくわくプロジェクト、GBA (ガールズ・ビー・アンビシャス!)プロジェクト。「ほしいもの」「元気がでるもの」「なりたいもの」がきっとみつかります！

GBA <http://www.j-gba.com>
「GBAのおすすめ商品」例
ハコイヌ GBAオリジナルTシャツをはじめ、ハコイヌグッズ大集合
JULA出版局の本 高女出身の村山篤子さんの童話集、
茂田井武画集など
「GBAコンサート」「GBA公開講座」「GBALんぶん」
＜GBAプロジェクト企画運営＞株式会社 LOFTY
代表取締役 吉澤久美子 (S57)
〒107-0061 東京都港区北青山3-6-7 青山パラスオクタワー11階
TEL 03-5778-7164 FAX 03-5778-7166

<http://AltPaper.net/> アンケート集計が簡単に!!

電子化したい情報がある
でも現場では紙に書きたい
そういうこと、ありませんか?

- Word、Excelで調票を作成
- 汎用プリンタで、普通紙にマークシート等を印刷
- ペンや鉛筆で書き込み
- 汎用スキャナで読み込み
- サーバーで画像処理・データ化
Excelなど各種ファイル出力が可能です

AltPaper
専用の機械を必要としない
マークシート等の自動読取システム
できました

平成10年卒 鎌田長明

有限会社 情報基盤開発

AI SEI
TECHNOLOGY

テクノロジーの交差点で未来が生まれる。
大成建設の保有する多彩なテクノロジーが
交わり、融合し、最先鋭な、大きなうねりとなって
今日と明日をつなぎます。

地図に残る仕事。大成建設
www.taisei.co.jp



株式会社 香川銀行

取締役頭取 遠山 誠司

〒760-8576 香川県高松市亀井町6番地1
TEL (087)861-3121
<http://www.kagawabank.co.jp/>

祝

第24回東京玉翠会総会開催

昨年の第23回東京玉翠会総会には、あたたかい応援&ご尽力を有り難うございました。甲子園効果もあり、おかげさまで1,130名という多数のご参加を戴く事ができました。そして、私達にとりましても人生の大切な1ページとなりました。

今24回総会でも、56年卒は一丸となって57年卒の皆さんに熱いエールを贈らせていただきます！

昭和56年卒業生一同

心から心へ。笑顔から笑顔へ。
確かな技術とノウハウで、
人と街を心豊かに彩ります。



株式会社 イシハラ

代表取締役 石原 英輝

本社/〒761-8014 高松市香西南町358-1
TEL(087)882-2231 FAX(087)882-8822
営業所/高松営業所、丸亀営業所
石原英輝(昭和34年卒)・「讃志会」(昭和34年卒) 事務局
石原久子(昭和38年卒)・石原裕三(昭和62年卒)・石原加奈子(平成2年卒)

石川税務会計事務所

税理士 CFP 石川 肇久

〒102-0084 東京都千代田区二番町5-2
麹町駅プラザ803(有楽町線麹町駅5番出口)
TEL03(5211)1541 FAX03(5211)0777
E-mail:ista@nifty.com
URL:<http://www.now.mfnet.ne.jp/~isshy/>



TOYOTA



トヨタ車のレンタカー・カーリースを通じて、お客様に
ハイクオリティ・ローコストのサービスを提供する、
それがトヨタレンタリース東京の仕事です。

年間、当社レンタカーをご利用いただいている
55万人のお客様と、保有台数8万台のカーリースが
「信頼と安心」の証と考えています。

TOYOTA よいクルマ、よいサービス
トヨタレンタリース東京

本社 〒102-8320 東京都千代田区九段南2-3-18 TEL: 03-3263-6321
トヨタレンタカー予約センター TEL: 0070-8000-10000
http://www.toyota-rl-tyo.co.jp

顧問 梶野 茂
(昭和34年卒)

「日本一美味しい」さぬきうどんを全国に

関西圏における展開

首都圏における展開

- 江坂店
- 大阪駅店



(新業態)

- 上野店
- 上野2号店
- 秋葉原店
- 武蔵小杉店
- 恵比寿店
- 新橋店
- 関内店

JR四国グループ
株式会社

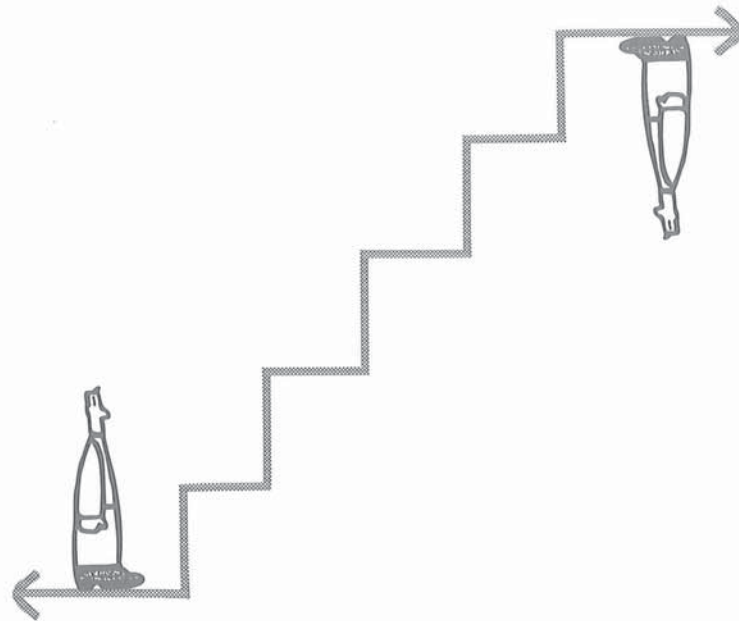
本社
〒769-0203 香川県綾歌郡宇多津町浜三番丁36-2
TEL (0877)49-6111 FAX (0877)49-6110
フリーダイヤル 0120-49-6110
ホームページ http://www.merikenya.com/
E-Mail meriken@neti.com



代表取締役社長 諏訪 輝生(昭和41年卒業)

私たちは静脈産業です。

元気がみなぎる社会から大量に発生するゴミ。
それらを資源として再利用、環境を守るのも私たちの仕事です。



私たちは動脈産業です。

ビルや道路をつくるのに欠かせないセメント。
活気にあふれた社会へ資材を送りこむのも、私たちの仕事です。

太平洋セメント株式会社

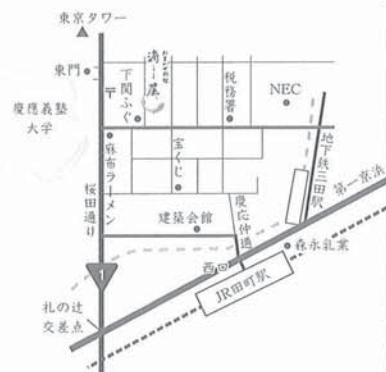
〒104-8518 東京都中央区明石町8-1 聖路加タワー http://www.taiheiyo-cement.co.jp



おまかせ料理
滴しずくや屋

我が家でゆったりと晩酌を楽しみたいようにお過ごしただきたい。
よけいな音楽や、煩わしいお品選びを極力省いて、
水面にたゆたうように、御身をお任せいただければ幸いです。
粹で気兼ねのない「日本人」時間をお作りできたらと思います。

亭主



おまかせ料理
滴しずくや屋
〒108-0014
東京都港区芝5-12-12
電話 03-5418-4038
営業時間 昼の部 11時30分~14時
夜の部 17時~23時
定休日 土日祝日



<p>ひびき法律事務所</p> <p>弁護士 小倉 良弘 (高高39年卒)</p> <p>〒160-0004 新宿区四谷1-8 四谷一丁目ビル8階 TEL 03-3355-2268 FAX 03-3355-2308</p>	<p>通信・設備・土木工事で 四国のインフラを支える企業</p> <p>快適生活提供企業=ハートフル“カナック”</p> <p> 株式会社 カナック</p> <p>代表取締役社長 大西 大介 (昭和35年卒)</p> <p>地元(香川)で働いてみませんか</p> <p>詳細についてはホームページ、 または電話で確認して下さい。</p> <p>〒761-0492 高松市三谷町136 番地 TEL(087)889-8111 FAX(087)888-1115 ホームページ http://www.kanac.co.jp E-mail info@kanac.co.jp</p>
<p>讃岐うどん</p> <p>綾川</p> <p>25年卒 大林 正明 26年卒 美佐江 (旧姓 久保)</p> <p>吉祥寺店 〒180-0003 武蔵野市吉祥寺南町1-1 吉祥寺駅ビル“ロンロン”地下飲食街 TEL 0422-22-7928</p> <p>秋川店 〒197-0804 あきる野市秋川1-17-1 あきる野東急4階 TEL 042-550-9870</p>	<p>Digital Development & Interactive Media Design</p> <p>HyRock</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタルコンテンツ企画・開発 WEBシステム構築 PCシステム開発 <p>有限会社 ハイロック 小山 宏記 (高高53年卒) 151-0071 渋谷区本町2-33-20-404 TEL:03-5334-7595 FAX:03-5334-7596 E-mail: koya@hyrock.co.jp</p>
<p>PRONTEST®</p> <p>英語発音矯正ソフト開発・英語企業研修 (独)産業技術総合研究所 技術移転ベンチャー</p> <p>株式会社プロンテスト</p> <p>代表取締役 奥村 真知 (高高50年卒)</p> <p>URL: http://www.prontest.co.jp 〒305-0045 茨城県つくば市梅園1-1-1 (独)産業技術総合研究所 第2事業所内 TEL 029-855-6188</p>	<p>浅井洋法律事務所</p> <p>弁護士 (第一東京弁護士会)</p> <p>浅井 洋 (昭和35年卒)</p> <p>〒100-0014 東京都千代田区永田町2-9-8 パレロワイヤル永田町903 TEL. 03-3539-3551 FAX. 03-3539-3552</p>

<p>日本薬物診断士協会(会長 森岡恒舟 高高27年卒)</p> <p>理事・認定筆跡診断士</p> <p>久保 醇治 (高高27年卒)</p> <p>〒195-0061 東京都町田市鶴川4-28-16 TEL&FAX042-735-3646</p> <p>本部 〒113-0034 文京区湯島3-8-9 松本ビル TEL:03-3837-7531 FAX:03-3837-7621</p>	<p>讃岐手打うどん 四国活魚料理</p> <p>高松 37年卒 藤村節子</p> <p>〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-7-7 窪田ビル1階 電話 東京 (03) 3406-0865</p>
<p>濱田法律事務所</p> <p>濱田 清 (高高32年卒)</p> <p>〒102-0093 千代田区平河町1の8の2 山京半蔵門パレスビル604 TEL 03-3221-6261</p>	<p>あなたもスパイダーマンの気分を味わえます。</p> <p>SET茨城パラグライダーズスクール</p> <p>住所: 〒315-0164茨城県石岡市小屋576-1 電話: 0299-43-0893 FAX: 0299-43-1854 URL: http://set-ibaraki.co.jp/ Mail: info@set-ibaraki.co.jp 営業時間: 午前9:00~午後6:00(火曜日定休)</p>
<p>宮武 医院</p> <p>宮武 治郎 (高高32年卒)</p> <p>〒192-0914 八王子市片倉町1221-26 ☎ 0426-36-8317</p>	<p>司法書士 松井 名保美 (高高 昭和49年卒)</p> <p>〒108-0073 東京都港区三田三丁目14番11号 鳥和三田ビル2階 電話 03(5484)0272 FAX 03(5484)0273</p>
<p></p> <p>〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-8-14 大黒ビル2F TEL. 03-3444-5511 http://www.dedesuke.com/ebisu/</p>	<p></p> <p>〒105-0004 東京都港区新橋3-16-4 西原ビル TEL. 03-3431-3442 http://www.dedesuke.com/funachu/</p> <p></p> <p>〒105-0044 東京都港区新橋3-16-4 西原ビルB1 TEL. 03-5777-1477 http://www.dedesuke.com/ddsk/</p> <p>千葉(十河)君代 (昭和47年卒業)</p>
<p>同窓会サポート32年の信用と実績 香川県内26校・全国1,350校のお取引</p> <p>業務内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 会員データ管理 ● 各種DM印刷～発送 ● 会員名簿の作成 ● ホームページ作成 <p>※同期会の開催をご検討の際はご相談ください。 宛名ラベル・リストの作成から、案内状の印刷～発送まで、ご予算に応じてお手伝いが可能です。</p> <p>SALAT 株式会社 サラト http://www.salat.co.jp/</p> <p>東京支社 〒110-0016 東京都台東区台東2-27-7 日土地御徒町ビル8F TEL.03-3832-6381 FAX.03-3832-6389 E-mail: tokyo@salat.co.jp</p> <p>本 社 〒670-0948 兵庫県姫路市北条宮の町172</p> <p></p>	

<p>株式会社 カニワ トーキョ</p> <p>代表取締役 岩井 耀子 (高高42年卒)</p> <p>東京都港区南青山6-8-11 株式会社ウチダレースビル 4F TEL 03-5774-5484</p>	<p>司法書士 行政書士 松尾和代 (高高42年卒)</p> <p>事務所 〒254-0046 神奈川県平塚市立野町7番9号 電話 (0463)34-5000 FAX (0463)37-3555</p>
---	--

京王線笹塚駅歩いて1分

産婦人科・内科 東クリニック

ホームページ a-azuma.comをごらんください。

Tel. 03-3481-0380
Fax. 03-3481-6776

 <p>讃岐のうどん屋 三好</p> <p>AM11:00~PM3:30 PM5:30~PM10:00 PM5:30~PM9:30(日曜日) 年中無休</p>		<p>高高42年卒5名で作ったうどん屋です。 夜は地酒等も御用意してあります。</p> <p>武蔵野市吉祥寺本町1-1-9-2F TEL&FAX 0422-29-0525 代表取締役 長田 光博</p>
---	---	---

中広デンタルクリニック

東京都千代田区有楽町1-6-6 常盤ビル4F
☎03-3591-5822

院長 中広 哲也 (高高46年卒)



祝

第24回 東京玉翠会総会開催
高高昭和48年卒業生一同

祝

第24回 東京玉翠会総会開催
東京 高高昭和50年卒業生一同

祝

第24回 東京玉翠会総会
昭和51年卒 有志一同

高高卒業生のための
高高卒業生による家庭教師センター

INF 個別指導教室
受験専門家庭教師グループ
高松高校OBサポートセンター

横浜本部 〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡48-3F
Phone. 045-314-3203

ホームページ <http://www.inf-tutor.com/>

代表 白濱 秀樹(高高S.49卒)

東京の大学に通っている高高卒業生には、安心して働けるアルバイト先の提供を。高高OBには安心して頼める家庭教師を。

弁護士 **岡 正晶**
(高高49年卒)

梶谷総合法律事務所
〒100-0005 東京都千代田区丸の内二丁目四番一号
丸の内ビルディング23階2511区
電話 (03)5212-1451(代表)
FAX (03)3201-5456
E-mail: m-oka@kajitani.gr.jp

株式会社 **C.S.S技術開発**

代表取締役 高城 雄三 (高高45年卒)

◆営業内容 [基準点測量、現況測量、出来形測量、CAD販売]
[測量コンピュータ販売、測量機器レンタル・販売]

ホームページ: <http://www.css24.jp>

本社 〒206-0014 東京都多摩市乞田1251 サークビル4F
TEL 042-373-2100(代) FAX 042-373-1800

生活設計塾 クルー

生活設計塾クルーは特定の金融機関等に属さない独立系ファイナンシャルプランナー集団。住宅ローン、保険、資産運用など個々の事情に応じたアドバイスを行う。TEL. 03-5342-6250 昭和50年卒
<http://www.fp-clue.com/> 内藤 眞弓(旧姓 緒方)

アローズ法律事務所

弁護士 藤本 邦人 (昭和53年卒)
弁護士 関谷 利裕 (昭和54年卒)

〒760-0023 高松市寿町2-2-10 JPR高松ビル5F
電話 087-826-3880

応援しています! 香川県立高松高等学校

カタチにします。ときめき・キラメキ・おもてなし

近畿日本ツーリスト

高松支店

〒760-0023 高松市寿町1-3-2 (第一生命ビル1F)

カウンター TEL (087) 821-4891(代) FAX (087) 823-8747
団体 TEL (087) 851-3331(代) FAX (087) 851-3330

香川愛媛 せとうち旬彩館

KAGAWA EHIME
SETOUCHI SHUN SAI KAN
2F
即ち・せとうち料理
かおりひめ

〒105-0004 東京都港区新橋二丁目19番10
新橋マリンビル1・2階

1階【特産品ショップ】 TEL(03)3574-7792
営業時間 10:00～20:00(土日祝も営業)

○讃岐うどん・しょうゆ豆・各種オリーブ製品・
和三盆・銘菓・地酒・伝統工芸品など香川県自
慢の特産品をご用意しています。

2階【かおりひめ(香媛)】 TEL(03)5537-2684
営業時間 11:00～23:00(土日祝も営業)

○「さぬきの夢2000」を使った讃岐うどん、瀬戸
内から直送の地魚を使ったお料理、讃岐三畜を
使ったお料理等で皆様をお待ちしています。

美しい自然と温暖な気候に恵まれ
歴史と人情味溢れる……
それが瀬戸の都・四国香川県
「せとうち旬彩館」はそんな香川と
東京を結ぶアンテナショップです。



【交通のご案内】
JR「新橋駅」銀座口より徒歩1分
東京メトロ銀座線「新橋駅」2番出口すぐ
ゆりかもめ/都営浅草線「新橋駅」より徒歩3分
都営大江戸線「汐留駅」より徒歩5分
※お知らせ
「香川・愛媛せとうち旬彩館」のある
「政府工業会館」は、平成18年4月より
「新橋マリンビル」に名称変更になりました。

メガネは眼の健康を支える医療機器であり、
また、あなたらしさをひきだすファッションアイテムです。

遠近両用は具合が悪い、疲れる、慣れにくいとお考えの方へ 遠近両用レンズ相談会

趣味、仕事の目的に合わせて、累進レンズの種類も多様化していま
す。メガネレンズは眼との組み合わせによってはじめて性能が100%
発揮されます。高い技術・ノウハウを持つレンズカウンセラーがあなた
のメガネを快適にするお手伝いいたします。



遠藤カウンセラー



山越カウンセラー

こだわる、楽しむ、大人のメガネをお探しの方へ おしゃれメガネ相談会

メガネフレーム コンサルタントは、お客様の個性やお願立ち、お化粧
に合わせて、納得のいく素敵なフレーム選びをお手伝いいたします。



福薬コンサルタント

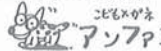


本安コンサルタント

●お問い合わせはお近くのオグラまでお気軽にどうぞ。

- | | | | |
|--------------|------------------|-------------|------------------|
| 渋谷本店 | Tel.03-3499-2156 | 市ヶ谷店 | Tel.03-3264-5178 |
| 新宿ルミネエスト店 | Tel.03-3352-6531 | 小・中・大・亀有駅前店 | Tel.03-5680-5701 |
| 立川ルミネ店 | Tel.042-527-8079 | 横浜西口ジョイナス店 | Tel.045-321-6871 |
| 八王子店 | Tel.042-646-5515 | 横浜東口ポルタ店 | Tel.045-453-6501 |
| 町田アドホック店 | Tel.042-726-3603 | 藤沢オーパ店 | Tel.0466-26-2877 |
| 新百合ヶ丘エルミロード店 | Tel.044-965-3020 | 京急百貨店メガネサロン | Tel.045-848-7278 |
| 相模大野ミロード店 | Tel.042-767-1696 | 都筑阪急店 | Tel.045-914-1175 |
| 川崎BE店 | Tel.044-200-6654 | | |

子どもメガネ専門店



- 渋谷店 Tel.03-3499-2156(直通)
- 小田急百貨店新宿店 Tel.03-5325-2507(直通)
- 伊勢丹立川店 Tel.042-540-7611(直通)
- 横浜タカシマヤ店 Tel.045-290-7211(直通)
- 玉川タカシマヤ店 Tel.03-5717-6681(直通)
- 東武百貨店池袋店 Tel.03-5957-7680(直通)

低視力の方のための

オグラ ロービジョンセンター 渋谷
JR渋谷駅東口明治通り東急イン並び
オグラ眼鏡店2階
Tel.03-3499-6231



〒102-0093 東京都千代田区平河町2-11
☎03-3263-6872
www.ogura-megane.co.jp

小早川法律事務所

弁護士 小早川輝雄(昭和29年)
弁護士 小早川龍司(昭和56年)

高松市錦町2丁目3番16号
TEL (087)851-3367(代) FAX (087)851-3368

下水道設計・土木設計・測量調査

日新技術株式会社

代表取締役

恵比須 忠

(S42年卒)

本社 〒359-1126

埼玉県所沢市西住吉10-13 カワモト所沢ビル

TEL 042-929-4681 FAX 042-922-6165

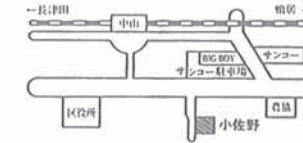
E-mail: ngtok@oak.ocn.ne.jp

札幌事務所・仙台事務所・広島事務所・福岡事務所

小佐野歯科医院

小佐野 千重子(45年卒)
(旧姓 林)

〒226-0011 横浜市緑区中山町68-1
TEL (045) 934-3003



歴史に名高い駆込寺

松山
東茶屋

〒247-0062 神奈川県鎌倉市山ノ内一三六七

TEL 0457(二)一六六三

井上 米輝子
(S45年卒)

●自己実現へのロマン——いま、手軽なものに。 自分史出版のご案内

専門家や、技術スタッフ陣が
あなたの本づくりをゆたかに演出します。
代表取締役社長 池上晴英(S45卒)

株式会社美巧社 総合印刷・出版

東京支社・東京都文京区小石川2-2-14 ☎(03)3813-8231 FAX(03)5684-7551
本社・香川県高松市多賀町1-8-10 ☎(087)833-5611 FAX(087)834-1264
坂出支店・香川県坂出市旭町3-1-23 ☎(08774)6-1005 FAX(08774)6-1005
INEX事業部・香川県高松市常盤町2-6-17 ☎(087)831-0881 FAX(087)833-9839

岡崎・大橋・前田法律事務所

弁護士 岡崎 洋 (高高37年卒)

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-2 淡路町サニービル4F
TEL 03-5296-7676 FAX 03-5296-7678

http://www.shikoku-np.co.jp



いまを読む。明日を知る。

四国新聞

四国新聞社 〒760-8572 高松市中野町15番1号 TEL(087)833-1111

7月8日 晴れ 日直 前田

辻篤之 西村直子
本田博之 宮高仁美
竹谷仁 福家浩之
森尾周治 伊東麻紀
河津正人 堀本勝敬
伊藤菜穂子 西守美奈子
河本勇臣 松下英志
佃康弘 富原淑子
佃美智代 横井徹
神内健寿 岩部昌平
羽野精一 加藤善郎
表具典保 家徳順子
吉澤久美子 小林真理子
井池輝繁 佐々木徹
内田久美 潮見統一郎
岡内眞一郎 高橋淳
小川義文 富山華子
佐藤美佳 星野百合子
鳥居研志 溝口良子
鳥居多恵 宮脇恵一
斧田美佳子 宮脇加津子
和田康裕 横田知伸
田中英幹

昭和57年卒 幹事団一同

落書きすんな!!

本日は多数お集まり頂きどうもありがとうございました。

日本をおいしくする

SHOWA



おいしさがつながっています、昭和産業。



小麦や大豆、とうもろこしなどの“大地の恵み”を加工し、さまざまなおいしさの素を提供する、昭和産業。変わることはない素材への厳しい目とおいしさへのこだわり、さらに総合食品会社としてのトータルパワーで、日本の食文化に貢献しています。

昭和産業、日本をおいしくする会社です。

昭和産業株式会社

製粉部 顧問 長谷川 汎 (昭和29年卒)

〒101-8521 東京都千代田区内神田2-2-1 鎌倉河岸ビル TEL. 03-3257-2904



本店ロビーに立つ
SAKIMORI

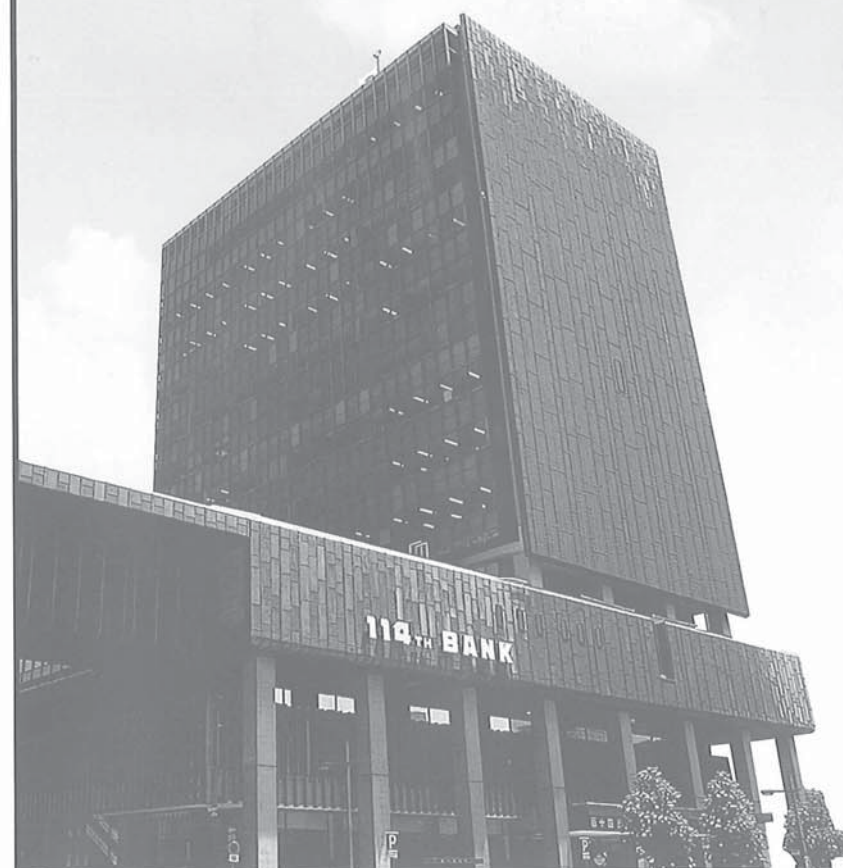
流 政之作

「防人(さきもり)」
防人とは、古代、唐に対する防備として配置された兵士のこと。もともとは騎守と書かれたところから、騎に立ち、遠くの先を見る役割を持っていた。世の中の先を見る証券会社にとって、象徴的なオブジェです。

香川証券

銀座支店 東京都中央区銀座4丁目12-19 日章興産ビル4F TEL (03) 5550-8125
<http://www.kagawa-sc.co.jp>

あなたの始まりを、
応援させていただきます。



 いい出会い ふくらむ未来
百十四銀行
<http://www.114bank.co.jp/>

JCB
future, together.

いつも、
それ以上のモノを
求める人に。



日本でいちばん使える
カードであること。

JCB QUALITY

お問い合わせ

JCB入会ご案内専用ダイヤル
9:00AM~5:00PM 年中無休(年末年始を除く)

0120-015-870

※電話番号は、お間違いのないようおかけください。

JCBグローバルサイト

<http://www.jcb-global.com/>

株式会社ジェーシービー 特別顧問 中西 公 (高高S34年卒) 東京都港区南青山5-1-2 青山ライズスクエア